

全国女性建築士連絡協議会30回記念

ポスターセッション

2010・2020



公益社団法人 日本建築士会連合会 女性委員会

令和3年9月

日本建築士会連合会 女性委員会

全国女性建築士連絡協議会のあゆみ

年度	回	開催内容・テーマ	開催地	出席者
1989	—	全国女性建築士連絡協議会設置準備会	東京	—
1990	第1回	単位士会女性部会(委員会)設置推進	東京	77
1991	第2回	豊かさとうるおいのある暮らしを求めて ~高齢化社会と女性建築士~	大阪	193
1992	第3回	生き生きと住み続けられる住居を求めて ~高齢化社会と女性建築士~	東京	99
1993	第4回	高齢者の一人暮らしを支える多様な住まい ~高齢化社会と女性建築士~	愛知	150
1994	第5回	女性建築士の地域における活動	東京	160
1995	第6回	人と自然にやさしい住宅づくり ~自然環境との共生~	岐阜	150
1996	第7回	安心して住み続けられる住環境を求めて ~女性建築士の地域活動~	東京	206
1997	第8回	安全に、健やかに住み続けられる住環境 ~健康住宅と女性建築士~	岡山	201
1998	第9回	女性建築士の地域活動 ~安全に、健やかに住み続けられる住環境づくり~	東京	253
1999	第10回	安全に、健やかに住み続けられる住環境づくり ~次世代のための取り組み~	宮城	260
2000	第11回	地域の環境と共生する住環境づくり ~建築士としての地域活動~	東京	314
2001	第12回	地域と共生する住環境づくり ~地球環境から考える~	熊本	248
2002	第13回	地域と共生する住環境づくり ~さまざまな職種・地域で活躍する建築を担う女性たち~	東京	317
2003	第14回	地域と共生する住環境づくり ~復興都市から考える「まちとくらしの未来像」~	兵庫	297
2004	第15回	地域と共生する住環境づくり ~美しいひと・まち・くらし~	東京	350
2005	第16回	地域と共生する住環境づくり ~身近な素材を未来へつなぐ~	香川	277
2006	第17回	地域と共生する住環境づくり ~住まいの安全を守る~	東京	376
2007	第18回	地域と共生する住環境づくり ~自然とこだまする~	青森	269
2008	第19回	地域と共生する住環境づくり ~住みかえに学ぶ~	東京	363
2009	第20回	地域と共生する住環境づくり ~環境における「環WA」を考える~	長野	405
2010	第21回	女性建築士の新たな出発	東京	350
2011	第22回	景観まちづくりからコミュニティの再構築へ ~京都で考える 日本のまちと暮らし~	京都	500
2013	第23回	地域と共生する住環境づくり ~見直そう、これからの住環境と暮らし方~	東京	300
2014	第24回	未来へつなぐ住環境づくり ~大切にしたい暮らし方~	東京	280
2015	第25回	未来へつなぐ住環境づくり ~次世代へ伝えたい、こと・もの・くらし~	東京	191
2016	第26回	未来へつなぐ住環境づくり ~日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見~	奈良	372
2017	第27回	未来へつなぐ住環境づくり ~和の空間を考える~	東京	260
2018	第28回	未来へつなぐ住環境づくり ~一周遅れで先頭に 伝統こそ最先端~	高知	306
2019	第29回	未来へつなぐ住環境づくり ~和の伝統技術の継承と創造~	東京	231
2021	第30回	未来へつなぐ住環境づくり ~建築空間を支える木の文化 木挽棟梁のモノサシ~	福岡	

建築士会全国大会 女性委員会セッション

年度	開催内容・テーマ	開催地
1995	縄文からのメッセージ	青森
1996	景観から見たゴミステーション	福井
1997	斜面都市の光と影	長崎
1998	住び寂びルネッサンス	奈良
1999	森からのメッセンジャー木造校舎	長野
2000	ふれあいの国フォーラム~集まれ、まちのつわものども 一まちづくりの心を育てよう~	鳥取
2001	提案・心をつむぐ未来のくらし	宮城
2002	クイズ知ってるつもり	三重
2003	クイズ知ってるつもり	宮崎
2004	クイズ知ってるつもり	和歌山
2005	クイズ知ってるつもり	愛知
2006	クイズ知ってるつもり	栃木
2007	クイズ知ってるつもり	北海道
2008	クイズ知ってるつもり	徳島
2009	クイズ知ってるつもり	山形
2010	クイズ知ってるつもり	佐賀
2012	東日本大震災に思う、女性建築士の視線から ~リスクの認識・共有対策~	茨城
2013	高齢者・障がい者の住宅改修において、建築士としてできること	島根
2014	考えよう!明日を担う子供達のための住まいづくり ~放射線対策を考える~	福島
2015	未来につなぐまちづくり ~3委員会発表から~	石川
2016	和室の魅力を次世代に引き継ぐ	大分
2017	コミュニティケア型仮設住宅地を考える	京都
2018	和の空間の魅力を探る 「魅力ある和の空間ガイドブックWeb版」の活用	埼玉
2019	和の空間の魅力を探る…ふたたび 「魅力ある和の空間ガイドブックWeb版」の活用	北海道

日本建築士会連合会 女性委員会

1990 - 2008



1993 AICHI



1994 TOKYO



1995 TOKYO



1996 TOKYO



1997 OKAYAMA



1998 TOKYO



1999 MIYAGI



2000 TOKYO



2001 KUMAMOTO



2003 HYOGO



2004 TOKYO



2005 KAGAWA



2006 TOKYO



2007 AOMORI



2008 TOKYO

日本建築士会連合会 女性委員会

2009 - 2019



2009 NAGANO



2010 TOKYO



2011 KYOTO



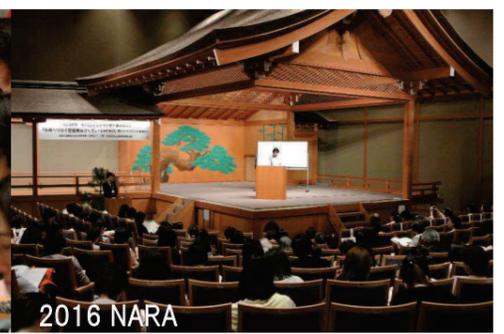
2013 TOKYO



2014 TOKYO



2015 TOKYO



2016 NARA



2018 KOCHI



2019 TOKYO



北海道建築士会 女性委員会

会員数259名 1988年設立

毎年、全道の女性建築士が年に一度集まり、建物見学や散策、講師をお招きして講演会や防災の勉強会などを行っています。
 デッカイドウ、北海道と昔は言いましたが、高速道路や新幹線が通っても、まだまだ地域間交流は時間と距離の面で大変です。
 「集い」を通じて世代を超えた、楽しい交流会をこれからもずっと続けていけたらと思います。

■2010.10.03 増毛 歴史的建造物見学



■2011.9.25 釧路 湿原散策



■2012.8.26 函館 浪漫散歩



■2013.9.22 札幌 避難所運営ゲーム「HUG」研修会



■2014.9.28 旭川 旧おかだ邸食事&見学会



■2015.7.25 室蘭 歴史建物街歩き



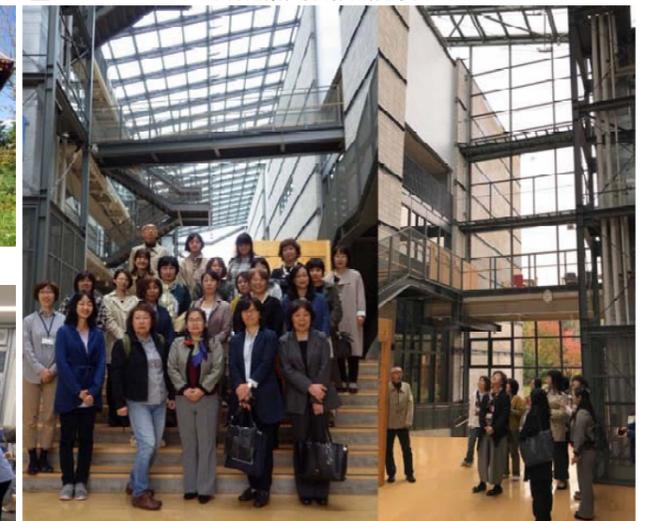
■2016.10.2 室蘭 絵鞆小学校・蕙山苑見学



■2017.10.1 ニセコ 倉庫郡～ばあちゃんち他見学会



■2018.10.7 旭川 北方建築総合研究所見学会



■2019.8.24 札幌 防災クロスロードゲーム研修会



北海道建築士会 女性委員会
 会員数274名 1988年設立

2010
 2009
 2008
 2007
 2006
 2005
 2004
 2003
 2002
 2001
 2000
 1999
 1988

青森県建築士会 女性委員会

会員数 71名 平成2年設立

活動のテーマ

明るくて温かくて気持ちのいい家



居心地のいい空間を地域社会の人たちと考える活動

- 平成13年度 シンポジウム Vol.1 / 井上さきみ氏 (大阪士会) を招いての講演会と、様々な職種の方と学生とでパネルディスカッションを八戸市で開催
- 平成14年度 シンポジウム Vol.2 / 古い民家の調査と、その利活用を探るため温故知新ワークショップと、パネルディスカッションを青森市で開催
- 平成15年度 シンポジウム Vol.3 / 小学生の考える居心地のいい空間を作るワークショップと、親子で考える住まいについてのパネルディスカッションを十和田市で開催

環境・地域社会などテーマを少しずつ発展させて活動

- 平成18年度 「自然の恵みを暮らしの中へ、緑を活かし雪と仲良く暮らすために」というテーマで、個人の「住まいづくり」が「街」の現象を高め、より良い地域環境へとフィードバックされることを考えるワークショップを開催

平成21年度は、女性ならではの視点で地域社会を考える活動

青森市が今年度から整備する公共及び公的施設に設けられる「授乳室」のあり方についての提案

- 青森市
 - 市の施設への授乳室整備
 - 民間への整備に対する助成金
- 青森士会女性委員会
 - 授乳室整備への基本方針とその展開に関する表示作成に対する基本方針と運用のマニュアルの作成
- おもしろデザイン協会
 - 整備に関する基本方針を受けて、具体的な提案作成と展開に関するマニュアルの作成

今後、市及び民間における授乳室の整備や案内表示に関する展開について、可能な限り青森士会女性委員会及びおもしろデザイン協会が適切なアドバイスを行うこととし、広く民間へのアピールなども協力していくこととする。

青森士会女性委員会では、青森市での今回の「授乳室」展開に関する協力体制を他の市町村でも展開していくべきと

活用マニュアルの活用

授乳室の案内表示

男性の育児参加も今はあたりまえ。N/Pも気軽に利用できるような案内表示を「N/Pママゾーン」という表現にして、案内表示の基本とした

母乳を授乳するママ専用ゾーンを示す「ママゾーン」という表現とした

授乳室が建物内に設置されている箇所を示したり、誘導、案内表示用など、オールマイティに利用する表示、状況に応じた自由なデザインで使用

青森県建築士会 女性委員会

会員数74名 1990年設立

年度	女性委員会活動
H2	第1回全国女性建築士連絡協議会東京大会開催 青森県建築士会女性委員会設立
H6	三内丸山遺跡「子供絵画展」ワークショップ
H7	第1回「女性建築士フォーラム」開催(青森市) (公社)日本建築士会連合会女性委員会主催
H12	青森県建築士会三沢支部 女性委員会設立
H13	明るくて温かくて気持ちのいい家 『居心地のいい空間・みつけた』 十和田市において小学生・高校生・建築士と共にWS ブロック会の皆さんを交えてのシンポジウム開催
H14	明るくて温かくて気持ちのいい家 『沼田さん家のいいものみつけた』 沼田家の平面おこし調査から始まり、地元高校生・地元有志・建築士と共にWS ブロック会の皆さんを交えてのシンポジウム開催
H15	明るくて温かくて気持ちのいい家 『居心地のいい空間・みつけた』 十和田市において小学生・高校生・建築士と共にWS ブロック会の皆さんを交えてのシンポジウム開催
H16	東北ブロック会青森大会開催(五所川原市) 宝田入会家地主会 豊台村に申請 『居心地のいい空間・みつけた』
H17	カラーコーディネート講習会開催 10/8
H18	明るくて温かくて気持ちのいい家 『自然の恵みを暮らしの中へ〜緑を活かし雪と仲良く暮らすために〜』
H19	第18回全国女性建築士連絡協議会青森大会開催
H20	明るくて温かくて気持ちのいい家〜連続講座1 インテリアコーディネート石戸谷菜子氏に聞く 6/21 〜住む家と遊ぶ家について〜 明るくて温かくて気持ちのいい家〜連続講座2 7/13 八戸市会にて 明るくて温かくて気持ちのいい家〜連続講座3 『木の家をつくる』
H21	明るくて温かくて気持ちのいい家〜連続講座1 DAKOデザインズにて 4/15 明るくて温かくて気持ちのいい家〜連続講座2 介護保険制度について 9/26 青森市へ授乳室整備についての提案
H22	明るくて温かくて気持ちのいい家〜連続講座3 住宅エコポイントと長寿優良住宅について 3/6
H23	青森県十和田大会にて東日本大震災時のアンケート調査 東北ブロック会青森大会開催(三沢市、十和田市) 『あれから半年、3.11の東日本大震災への思いを語る』 〜今、私たちができること。これから、私たちがやるべきこと〜
H24	全国大会山形大会 女性フォーラムに参加 『暮らしから未来を考える女性のフォーラム』
H25	委員長 高橋 忍
H26	
H27	委員長 斉藤 綾子
H28	
H29	委員長 西澤 祐子 弘前城跡見学
H30	委員長 西澤 祐子
R01	委員長 西澤 祐子 全国大会女性フォーラム発表 お泊り研修会
R02	委員長 西澤 祐子



2代目委員長
委員長と長い期間活動多感中でした。もう少し頑張ろうか・・・

6代目委員長候補
好中心で活動で自覚大。

初代委員長
年々動きが弱くなって来た。けど、出来るだけ続けたいなあ。

5代目委員長
設立からずっと副委員長として頑張ってきた。引継ぎまでよろしくね。

設立からの副委員長
助けが欲しい時、必ず頼りになる様の下の力持ち。

忙しすぎる委員
知識が豊富で青森には必要の人。

7代目委員長候補
若い力、充分に発揮して、青森を任せます。

おとなしすぎる委員
おとなしすぎるけど、頼りになる人。

岩手建築士会 女性委員会
会員数 110名 1989年設立



芝棟民家の調査活動
 藤森先生より「芝棟という貴重な民家が北東北、特に岩手にはまだ多数残っている。是非岩手の皆さんには、芝棟民家について造詣を深めてほしい」とのこと。これをきっかけに北東北茅葺きネットワークの協力も得、岩手県内の芝棟民家を調査中。改めて、県内の歴史的建物の価値に気付いています。



玉山・啄木記念館内の齊藤家住宅
 (ユリ・キキョウ・ハギ)

女性委員会 20周年記念事業「藤森照信氏講演会」
 平成21年2月13日(金) 於：岩手県公会堂
 150名参加(建築士会会員ほか一般市民含み)
 藤森氏・小川会長を囲んで女性会員限定の記念写真



岩手県内芝棟分布状況(調査途中)



芝棟民俗見学会
 県北の野田村にある民俗民家(築150年)。所有は野田村で、H21年12月～22年3月にかけて屋根の葺き替え工事を終了。



■盛岡支部
 ～盛岡まち並み塾主催「盛岡町家 旧暦の雛祭り」～
 受付けなどのお手伝い。普段とは全く違う和服姿はなかなかの好評です。

■花巻支部
 ～地盤・基礎・構造についての勉強会～
 地盤調査データの分析・地盤改良の方法について、構造設計の方を講師に勉強会を開催。
 他に長期優良住宅仕様の住宅とH12年の法改正前の構造基準(ホールダウン金物等の使用無し)の住宅との、地震時の被害比較なども学習。



■一関支部
 ～セミナー「岩手・宮城内陸地震に学ぶ」～
 応急危険度判定の実践報告を発表。



■奥州支部
 ～建築士の日行事「おうちをつくらう」～
 幼稚園や保育園の協力を頂き、青年部が子どもたちと一緒に「おうちをつくる」(18名参加うち女性会員4名)。園児に絵を描いてもらい、それをもとに角材とベニヤで加工・組み立てをして塗装(水性ペンキ)をする。



■釜石支部
 ～「楽山荘」見学会～
 新日本製鐵釜石製鐵所所有。S25年築。阪東義三建築事務所設計。S造と木造の混構造2階建て。延床面積1,010㎡。耐震改修工事を終えての見学会に参加。



■釜石支部
 ～木造住宅簡易耐震診断授業～
 支部の地域防災教育活動の一環として平成16年より年1回、市内の中学校にて開催。簡易耐震診断の実習を通して、どうしたら地震に強い住宅となるかを学習する。講師として参加。

岩手県建築士会 女性委員会

会員数121名 1989年設立

芝棟 調査



花咲 プロジェクト



絶滅危惧種の建築である芝棟。その魅力を伝えるために冊子の構想を温めていた時、震災があった。花咲プロジェクトは震災の3か月後に始動。資金となったのは、芝棟の冊子を介した協力金である。春と秋の訪問を継続すること7年。仮設住宅の住民の方達や保育園児と共に花を植え、交流を重ねた。仮設住宅の撤去が決まり、活動は終了。半年ごとに目にした復興過程は、私達の脳裏に深く刻まれた。

主旨に賛同し、ご支援・ご協力いただいた全国の支部の皆さんに、この場を借りて御礼申し上げます。

陸前高田の見学は、盛り土造成区域に建設された商業施設から、観光ボランティアの案内にて徒歩で行ける「ほんまるの家」「まちなかテラス」を始め、高台からは居住禁止区域を眺め、今泉地区までマイクパスで周る。ボランティアガイドさんのリアルな思いを聞けるいい機会だった。
 風質は碓氷海岸で海の幸を美味しくいただき、大船渡中心部へ向かう。途中、末崎地区の高齢者の賑わいの場「居場所ハウス」、バスの中から大船渡泊里地区防集団地、災害公営住宅などを見学。
 「大船渡市防災観光センター」では職員の方より特別に説明していただく。BRTの大船渡駅に隣接するこの施設は、市民の集いの場、観光の拠点となる事を願って建てられている。ここからは歩いてすぐに商業施設もあり、景観条例により外観にも統一感があり街並みである。



沿岸視察

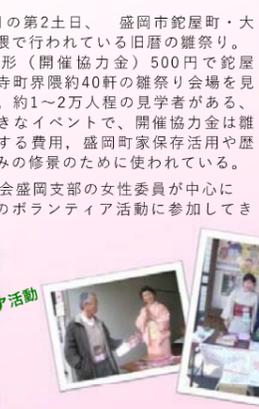
この見学会は、大船渡防災観光センターの職員とのご縁が始まりとなり、気仙支部の女性委員の方々に計画を協力していただき素晴らしい見学会となった。実際に行ってみると、復興はまだまだ進んでいないように感じる。出来る限り、観光などで訪れて私たちも復興の後押しが...

平成30年10月14日(日)
 大船渡・陸前高田市の沿岸地域を視察

BRT大船渡駅前

毎年4月の第2土日、盛岡市鉈屋町・大慈寺町界隈で行われている旧暦の雛祭り。通行手形(開催協力金)500円で鉈屋町・大慈寺町界隈約40軒の雛祭り会場を見学できる。約1~2万人程の見学者がある、比較的大きなイベントで、開催協力金は雛祭りに関する費用、盛岡町家保存活用や歴史的街並みの修景のために使われている。建築士会盛岡支部の女性委員を中心に受付等のボランティア活動に参加してきた。

鉈屋町 旧暦の雛祭り



2020年は第16回目の参加でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。主催者は2003年に設立、地元住民と専門家を中心に活動を始めた団体である「特定非営利活動法人盛岡まち並み塾」の大切な資源である文化や暮らし、歴史的まち並みや建築物等を守り、地域住民と共に、次世代の未来へつなげる活動を行っている。

尚、盛岡まち並み塾では法人運営活動に参加していただける「正会員」、および活動をご支援いただける「賛助会員」、イベント開催時などお手伝いいただける「サポーター会員」を随時募集しているとの事。



～平成30年度の総会～

岩手県花巻市にある昭和初期に建築された旧橋本家別邸を改修し喫茶店として活用している「茶寮かたん」が会場。
 見学後の意見交換会では古い建物を残していくことの苦労話や、同じ建物でも人によって見る視点や様々で有意義な時間となった。

～令和元年度の総会～
 岩手県金ヶ崎町にある明治時代の建物「旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎第一棟」、現在は「軍馬の郷六原資料館」を岩手県の事業として修復工事を行った事例についての講演。県の担当者より歴史的な背景や官舎の特徴、耐震性・現行法適合に対する話を聞く。
 この時の懇親会は、盛岡市にある老舗料亭「京極」が会場。こちらも昭和初期に建てられた歴史的な魅力ある和の空間であった。



歴史的建物 勉強会・見学会

岩手県建築士会では平成28年度から岩手ヘリテージマネージャーの講習と登録が始まり、女性委員会の会員のなかでも登録者が多数いる。そこで最近では歴史的建造物を見学し、修復工事についての勉強会を開催している。

宮城県建築士会 女性部会 (委員会)

会員数109名 平成2年設立

健康住宅から、元気になる住宅へ

有害なものを除去しただけの住まいでは元気になれない。

暮らし・住まいに「森」を取り込もう

「森」を取り入れ、共生することで、
住んでいる人が元気になる住まいづくりとまちづくりを。



木のよさを住まいに取り入れる理由

- ・無垢材(杉)には空気浄化機能がある
- ・暖かさやすざらぎ、住み心地のよさを与える
- 見た目の柔らかさ、感触。鎮静効果のある香り。
- 熱伝導率が低く、断熱性が高い。

温湿度の調整機能など。

なぜ「森」で人は元気になるのか

それが本来、人としての有るべき姿に、木材や森林を通して近づく。本来の機能が発揮できるようになるからである。(森林総研：宮嶋良文氏)

森林の機能 <環境>

- 降水貯留・災害(洪水)防止。
- 環境浄化機能。
- 大気浄化：二酸化炭素を吸収、酸素供給。
- 水質浄化：雨水が森林の土壌を通過することで水質が中和され、ミネラルの増えた水に。



森林の効果 <ひと>

森林セラピー・内装材としての木材

森林内の樹木が作り出す空気のαピネンなどの物質の働きにより、人のストレスホルモンの減少や、脈拍数の安定化などの効果をもたらす。

森林セラピーロード

「森林浴」の効果を科学的に解明し、心と身体の健康に活かそうという試みが「森林浴」から一歩進んだ「森林セラピー」。森林セラピー基地、セラピーロードは全国で38箇所。

森を守る

国産材の利用は、林業を活性化させ森林整備につながる。百年の森づくり：針葉樹と広葉樹が混在する、美しく、災害に強い森、恵みの森をつくる。森との共存・共栄：他産業との連携により、地域振興に役立て、森との共存・共栄を図る。

人に元気をとりもどす住宅。そして財産である森林と共生するまちづくりへ

木材を内装に多く使用した住まいはリラックス効果や空気浄化機能などにより、人を元気にしてくれます。そしてその効果のおおもとである森林セラピーは癒しの効果だけでなく、地域の産業等(林業、農業、商工観光業、教育、医療など)と連携することにより、地方高齢化社会の中で、住民の健康促進やまちおこしが可能です。(登米町森林組合の取り組みを見学)「森」を生活に取り込むことは、林業を活性化させ、貴重な財産(森)と環境を守るだけでなく、地域・人・森林との関係を深める取り組みへと展開を目指すことでも、住民の健康と豊かな生活をも約束するものなのです。

宮城県建築士会 女性部会

会員数95名 1990年設立



傾聴の効果
震災後、当時の想いを胸に詰め込んだままの方に、流れてしまった家の思い出を聞くことへの躊躇があった。当時を思い出すことも辛いに違いない。しかし、想いを言葉にして、それを第三者が傾聴することは、心を癒やすことだった。話すことで、先に進める。震災後、足を向けることができなかった 沿岸部へ行けるようになった方もいらっしゃった。



記憶の中の住まい プロジェクト



国登録有形文化財 臣屋阿部家住宅主屋・隠居



秋田県建築士会 女性委員会

会員数67名 昭和61年設立

生活者である女性建築士達
がかかげたもの それは
「社会参加」
そして集まった仲間達との「絆」

今求められる...
「社会貢献」
「地域奉仕」

女性の感性を生かし、女性建築士として〇“社会参加”
を目指し、昭和61年4月他県に先駆けて専会を立ち上げる。



昭和61年「県内女性初の1級建築士誕生」

「街並み再発見」

女性建築士の中でも一度自分の
住んでいる街並みを再発見してみたら
...ということではじめた活動。女性
特有の生活感性を生かし、建物・街
並みの移り変わりをレポート、奥どら
ずマイペースに...6年後専会発会。心
和む街の保存や、これからの展望
等、熱に帯びた。



各支部から、心のこもったパネルが集まった。

「気持ちのいい家つくろう！」

平成7年からスタートしたこの活動。小学生を
対象に行った「気持ちのいい家場所どこ？」の
アンケート調査で、「居場所」がNo.1それじゃ～気持ちの
いい所作ってみよう！という趣旨。
毎回の大作に私たちスタッフもとても勉強になる。



子ども達の輝いた瞳に笑顔のこぼれ！

会員親睦

充実した内容の広報誌...
年齢をこえた会員同士の親睦に一役！



社会貢献

各種講習会の講師や「ネー、公的機関の
多方面で女性建築士が活躍。

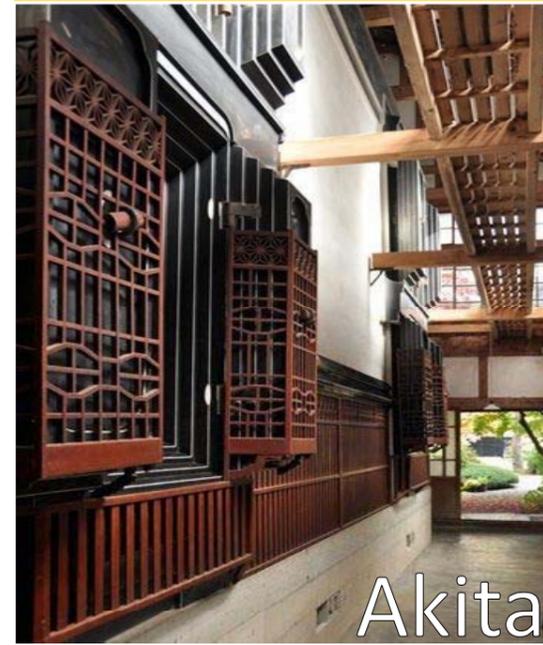


福祉住宅改修相談員
として、障がい者等の
高齢者宅に備えプラン
ニング。女性の顔の見える。

秋田県建築士会 女性委員会

会員数68名 1986年設立

建築士のための会から
地域のための会へ 変化の10年



Akita

2010 ~ 2020
change & rediscovery

残す+守る

住み継ぐ者を失い維持することが難しくなった古き伝統ある建築物たち
その建築物の持つ価値と役割を終えた建築物も、「再生」によって地域が
生まれ変わり・支える拠点となることを情報発信し、人材育成と次世代へ
の技術継承に取り組む



添う+支えあ

30周年を迎えこれまでの軌跡を振り返り、ここからまた新たな道標を創り
共に歩み続ける



知る+活かす

「女性委員会だより」は会員どうしの情報共有に
役立てると共に、地域・社会へアピールしていく

継ぐ+育む

昨年で15回目を迎えこれまで150以上の個性
あふれる「気持ちのいい家」が完成した
この事業に参加された親子の絆が深まり、
やがて子供たちが社会人となり、地域の建築
に係る人材となってくれることを期待し、みんな
で育んでいく



山形県建築士会 女性部委員会

会員数82名 1990年設立

山形県建築士会女性部委員会では、毎年1回、女性部メンバーとメンバーのご家族と共に、県内各地を巡る「ふるさと探検隊」を実施しています。設立時から続いており、今年で20回目の開催となりました。その年の話題になっているスポット、歴史のある建物、文化を学ぶコースとなっており、多くの皆さんが参加しています。この活動の20年を振り返ってみました。

「ふるさと探検隊 Part19」
一酒田市・三川町・(旧)羽黒町
H21/6/13...参加者27名(うち子供5名)

①見学-おくりびと撮影地「旧割烹 小幡」
②見学-おくりびと撮影地「港産」
③見学-「山王くらぶ」(旧料亭) 国有形文化財指定
④昼食-「くつろぎ割烹 志輔」山居町店
⑤見学-おくりびと撮影地「文化交流館:アクト先生の館」
⑥見学-「庄内映画村資料館」

「ふるさと探検隊 Part18」
中山町・山辺町 H20/6/7...参加者22名(うち子供2名)

①「オリエンタルカーペット」朝朝「大和」「武蔵」の長巻・長巻襦袢等の製造。パナソニック製法量産機の開発。高品質な襦袢を製造。京都高麗紙新製。黄膏塗。会館交差多くに手組製造。手組製造。ワイルドカーペットを手掛け製作納入。・機

②昼食-「手打ちそば処 金澤蔵」
③見学-「柏倉九左衛門家住宅」県指定文化財
④見学-「岡地区散策」
⑤体験-「お茶」

「ふるさと探検隊 Part17」
一尾花沢市・村山市
H19/8/11 昼食-手打ちそば体験・試食
尾花山温泉「錦山-道のまちづくり」の講演・散策
尾花山温泉「尾花山温泉」(パレットホテル)導入施設

「ふるさと探検隊 Part16」
一尾花沢市
H18/6/15 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part15」
一尾花沢市
H17/7/9 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part14」
一尾花沢市
H16/11/6 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part13」
一尾花沢市
H15/10/28 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part12」
一尾花沢市
H14/10/28 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part11」
一尾花沢市
H13/9/20-30 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part10」
一尾花沢市
H12/6/9-4 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part9」
一尾花沢市
H11/10/28 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part8」
一尾花沢市
H10/6/6-7 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part7」
一尾花沢市
H9/6/15 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part6」
一尾花沢市
H8/6/15 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part5」
一尾花沢市
H7/6/29 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part4」
一尾花沢市
H6/6/10-11 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part3」
一尾花沢市
H5/6/10-11 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part2」
一尾花沢市
H4/6/10-11 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

「ふるさと探検隊 Part1」
一尾花沢市
H3/6/10-11 尾花山温泉-尾花山温泉の施設-町並み・景観めぐり-火葬場

山形県建築士会 女性委員会

会員数79名 1990年設立

YAMAGATA

山形県建築士会女性委員会では、発足当初より継続していた事業を一新し平成31年より『建築女子フォーラム』を開催しました。記念すべき第1回は、県内で136年ぶりの建設となる、天童市常安寺五重塔の見学会です。同年開催された東北ブロックでの事例発表として、この五重塔を紹介させて頂いた事も重なり、県内はもちろん、東北各地より多くの方々にご参加頂き大盛況に終わる事が出来ました。その他にも様々な活動をおこなっております。会報『あれこれ』にまとめ、県内全会員に配布し女性委員会の活動をアピールしております。山形県建築士会のホームページから見る事ができますので是非ご覧ください。

建築女子フォーラム



福島県建築士会 女性委員会
会員数139名 1990年設立

福島県建築士会女性委員会
20年のあゆみ

私たち福島県建築士会は、平成2年の部会発足から『女性建築士のつどい』を毎年開催し、今年で第21回を迎えるに至りました。年々、開催地となる部会が持ち回りで主催し、会津地方・中通り・浜通りという我が県独特の3地域の特徴を活かした会費活動の交流の場となっています。



平成2年2月「女性建築士部会」設立
『女性建築士のつどい』開催の記録



- 第21回 平成22年6月 「アーキ・ウー・輝くとき」 郡山支部/郡山市/清原山俱樂部
- 第20回 平成21年6月 「これまでも・これから」 委員会主催/二本松市/福島県男女共生センター
- 第19回 平成20年9月 「猪苗代第一女性建築士のエコ宣言」 猪苗代支部/郡山郡猪苗代町/リステル猪苗代
- 第18回 平成19年6月 「野馬追の里に集う」 相馬支部/南相馬市/ゆめはつと(南相馬市民会館)「アーキ・ウー・輝くとき」 -郡山-
- 第17回 平成18年6月 「地域で活かす身近な素材」 委員会主催/二本松市/福島県男女共生センター
- 第16回 平成17年6月 「会津西街道に集う」 田島支部/南会津郡下郷町/大内宿・洗心亭
- 第15回 平成16年6月 「城下町 二本松に集う」 委員会主催/二本松市/福島県男女共生センター
- 第14回 平成15年6月 「来てみっせ!すずのわの宝さがし」 須賀川支部/須賀川市/米屋
- 第13回 平成14年9月 「あたただらの里に集う」 委員会主催/二本松市/福島県男女共生センター
- 第12回 平成13年6月 「アケアマリンにつどう」 いわき支部/いわき市/いわきゆめつたり館
- 第11回 平成12年6月 「Jヴィレッジにつどう」 双葉支部/猪苗代町/Jヴィレッジ
- 第10回 平成11年6月 「歴史のまちに集う」 会津支部/会津若松市/ホテルいづみや
- 第9回 平成10年6月 「深緑、湯の町はっかばか」 郡山支部/郡山市熱海町/清原山俱樂部
- 第8回 平成9年7月 「福島につどう」 福島支部/福島市/福島ビューホテル
- 第7回 平成8年7月 「波立につどう」 いわき支部/いわき市/クリナップ研修所
- 第6回 平成7年7月 「松川川につどう」 相馬支部/相馬市若子/相馬松川蒲葦
- 第5回 平成6年7月 「すきまつにつどう会」 福島支部/福島市/杉妻会館
- 第4回 平成5年7月 「あいづにつどう会」 会津支部/会津若松市/サンピア会津
- 第3回 平成4年7月 「安積野につどう会」 郡山支部/若潮村/ローレルパレイ
- 第2回 平成3年9月 「清美につどう会」 福島支部/福島市/穴原温泉
- 第1回 平成2年9月 「潮風につどう会」 いわき支部/いわき市/クリナップ研修所

これまでも・これから
平成21年度 女性建築士のつどい 第20回記念大会



勢揃い!ふくしまの女性建築士 講師・手塚ファミリーを囲んで



講演 懐かしいお米 相馬支部の企画によるランチビュッフェ、地元産の野菜を会員が協力して調理。20回記念VTRを鑑賞しながら会費。



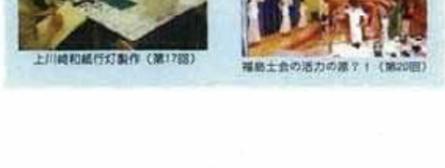
原野火力発電所視察見学(第6回)



ドッジボール大会(第8回)



分科会ワークショップ(第12回)



分科会ワークショップ(第12回)

「考えよう!明日を担う子供達のための住まいづくり」冊子作成

2011年3月11日の東日本大震災、そして福島第一原子力発電所事故。いまだ放射線への被爆リスクと向かい合いながらの生活が続く中で、子供達が多く時間を費やす住環境を改善し、少しでも被爆リスクから遠ざけることが、福島県にいる建築士がやらなければならない事だと考え、2014年に本冊子を発行しました。



遮蔽試験の様子

試験場所: 福島県郡山市
国際情報工科大学校
2013年(H25)10月8日
2014年(H26)4月17日



エコガラス ペアA12 スーパークリア ガス有り



窯業系サイディング ニチハ モエンアート t=35



断熱材 アサヒファイバーグラス 一般14K t=85

モックアップ試験体での実験の様子

試験場所: 福島県南相馬市
福島第一原発から15km
2014年(H26)5月27日~8月17日



2014.05.27 放射線建物モデル試験の様子 測定



2014.08.02 放射線建物モデル試験の様子 測定



2014.08.17 放射線建物モデル試験の様子 撤去後の測定

1年に一度の「女性建築士のつどい」1990年から始まり毎年開催されています。

第30回記念大会開催・記念誌の発行

2019年に30周年を迎え、1990年からのつどい開催年表・歴代委員長からの祝辞、そして活動報告を冊子にまとめました。



つどいの内容

各支部の活動報告からはじまり、講演や建物見学会などを終り、夜間の部「懇親会」へ。懇親会は各支部の余興もありとても盛り上がります。



2016年 懇親会/郡山市 余興



2017年 建物見学/猪苗代町 猪苗代ギャラリー



2018年 建物見学/会津若松市 福西本店



2019年 祈禱/須賀川市 神炊館神社

(社)茨城県建築士会 女性部会
会員数210名 1991年設立



共に研鑽, 共に楽しむ
見学会, セミナー, 体験学習

約40名の女性会員さんが、
年間15を越える行事を企画しています。
参加の半数は、男性会員さん、
専員は2005年～2010年の活動の様子です。



下籠ほらあるき

女性部会マップ

I LAL NETWORK

平成21年度 開催行事・セミナー		平成22年度セミナー予定	
開催	テーマ	開催	テーマ
6月	青年女性部会立会 講演会	5月	住宅省エネポイント
10月	体験学習「箕笠へ上るわらじ」	8月	伝統木構造
3月	「新緑祭平和記念館」見学会	9月	石の巻
セミナー	テーマ	11月	茶室見学会
5月	太陽光発電について	1月	新年会 & 企画会
8月	瓦の現地見学会	3月	タイムリー企画
10月	住宅耐震診断見学会	講演	テーマ
1月	新年会 & 企画会	4月	住宅ローンを上手に使う
2月	「結園寺」日本庭園見学会と 春遊体験	5月	日本庭園デザイナー 耕野 俊明氏の作品を訪ねる
4月	庭園内容と施工時の不具合	6月	住宅省エネポイント
8月	気候変動を考えた家づくり	7月	教えてほしい! 建築関係
7月	建築士法 イロハのイ〜	9月	建築資材: 種別と処理
9月	エクステリアに楽しくなろう!	10月	コーティングを学ぼう
11月	インテリアのある暮らし	11月	エコな暮らし方
1月	新年会 & 企画会	1月	新年会 & 企画会
2月	伊勢神宮の式年遷宮って?	2月	ゆきまの照明: LEDなど

模型で考える, 法規セミナー, パースセミナー



活動紹介

月	ラパークセミナー	わくわくセミナー
4	女子会連発に続く お料理教室「お豆腐」を お楽しみください。お豆腐は お豆腐の活用方法を学ぶ お豆腐の活用方法を学ぶ	女子会連発に続く お料理教室「お豆腐」を お楽しみください。お豆腐は お豆腐の活用方法を学ぶ お豆腐の活用方法を学ぶ
5	住宅の断熱 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	住宅の断熱 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
6	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
7	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
8	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
9	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
10	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
11	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
12	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
1	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
2	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の
3	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の	断熱材の種類 断熱材の種類 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の 断熱材の種類、断熱材の



自らを磨く
物差し1ミリへの情熱

女性委員会
ラパークセミナー
主に県央北地域
に会場、開催
わくわくセミナー
主に県南地域
に会場、開催

女性委員会では、各セミナーを年数回開催し、
意見交換や勉強会、交流、仲間づくりの場を目的とした企画をしています。



栃木県建築士会 女性委員会

会員数79名 1991年設立



女性委員会ニュース『Mon Bureau ~モンビューロ~』



栃木県建築士会 女性委員会

会員数77名 1991年設立

女性委員会会報誌『Mon Bureau』と共に30年を振り返る

1991年3月に栃木県建築士会女性部会発足 同時期に第1号を創刊
女性委員会定例会・勉強会・研修見学会・懇親会を継続的に開催し研鑽に励む様子や
連合会・県士の委員会や行事参加報告などを掲載している。



<p>東日本大震災</p> <p>サッカー女子日本代表 なでしこジャパンがW杯で優勝</p> <p>2012 勉強会 『使えるプレゼンテーション講座』</p> <p>2013 『日光山輪王寺見学会』</p> <p>2013 勉強会 『図面じゃわからない現場の世界』</p> <p>2013 勉強会 『現場監理のツボ』</p> <p>2014 勉強会 『地盤に関する勉強会』</p> <p>2014 勉強会 『住宅を中心に植栽の仕方』</p> <p>2015 勉強会 『省I・省E性能に優れた高効率給湯器』</p> <p>2015 勉強会 『失敗から学ぶ 監理&管理』</p> <p>2015 勉強会 『地盤調査データの見方』</p> <p>2016 勉強会 『マイナス金利時代に家を建てる』</p> <p>2017 勉強会 『手書きパース教室』</p> <p>2017 勉強会 『明日から使える家相』</p> <p>2018 勉強会 『確認申請実務のポイント』</p> <p>2018 勉強会 『北欧の暮らし方とインテリアデザイン』</p> <p>2019 勉強会 『建築基準法耐震工法+制振性能の必要性』</p> <p>2019 勉強会 『防災についての情報交換』</p>	<p>2011</p> <p>2012</p> <p>2013</p> <p>2014</p> <p>2015</p> <p>2016</p> <p>2017</p> <p>2018</p> <p>2019</p> <p>2020</p>	<p>20周年記念誌発行</p> <p>20th</p> <p>No.58</p> <p>No.59</p> <p>No.60</p> <p>No.61</p> <p>No.62</p> <p>No.63</p> <p>No.64</p> <p>No.65</p> <p>No.66</p> <p>No.67</p> <p>No.68</p> <p>No.69</p> <p>No.70</p> <p>No.71</p> <p>No.72</p> <p>No.73</p> <p>No.74</p>
---	---	---



(社)群馬建築士会 女性委員会

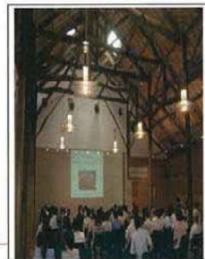
会員数170名 平成3年設立

— 鶴舞うかたの群馬県は、本州のほぼ中央に位置し、人口約201万、面積約3636平方キロメートル、新幹線で上野まで1時間です。—

* 女性委員会の事業1 (12支部で構成され、支部の女性部会としても活動)

1. 総会・講演会・見学研修会/年1回
2. 役員会/ 委員長、副委員長、12支部女性部役員で構成/年3~4回。
3. 環境講座/市民の方々へも参加を呼び掛け、見学会、講演会等を行う。

Z1.6 藤林正田議員にて女性委員会の集い
第1回 環境講座



Z1.5 総会・役員会
Z1.5 議の方にて住教育の講演を依頼



4. 住宅相談/長寿社会づくり財団・住宅相談会/月1回1名派遣
5. 本部主催事業への参加 ・建築士試験、監督、補助員/年3回
6. 本部委員会、各支部行事、青年委員会行事等への参加
7. 全国大会、ブロック会行事等への参加

* 女性委員会の事業2

- ・第2回環境講座 Z1.9

「金山地域交流センター」見学「金山城-120年の軌跡」講演会 茂木晃氏



・第3回環境講座 Z1.11

「筑城散策と竹材活用」竹皮編み」



* 新企画・今後の活動予定

- ・地域貢献活動への参加 (ぐんま地域貢献活動センター平成21年設立)
- ・地域産業担い手育成プロジェクト 招待授業への参加
- ・20周年記念事業の取り組み

* 役員会前の勉強会

- ・Z1.9 住宅瑕疵担保履行法に係る業務について 川上みつえ氏



- ・Z1.2 住宅のエコポイントについて (株) トステム



* 支部女性部主催行事 (いくつかの例)

- 桐生支部 スケッチ講座(5回)、民家町屋の見方調べ方研修会—事例発表会
- 前橋支部 カラーセミナー〜「センスアップ教室 (レッスン)」
- 伊勢崎支部 相川考古館茶室「蘭華庵」見学会
- 藤岡支部 畳工場&ショールーム見学会
- 高崎支部 古民家等見学会
- それぞれの支部女性部会では定例会により交流し研鑽しております。

「地域産業担い手育成プロジェクト」については地元の工業高校で
①伝統建築物保存の取り組みについて ②県内有名建築家の
作品見学について の2つのテーマに挑戦します。

群馬建築士会 女性委員会

会員数128名 1991年設立

20周年記念事業



20周年記念事業

群馬建築士会女性委員会が、設立20周年にあたり、記念事業としてバリアフリー調査をまとめた『みんなに優しいぐんまの街』を2011年に、そして活動をまとめた『女性委員会20周年』を2012年に発行しました。さらに、2013年には、群馬建設会館を会場にパネル展を開催しました。

ワークショップ

館林支部のお菓子の家づくり、前橋支部の紙ぶるる、ストローハウスなど恒例事業となっているワークショップでは、多くの子どもたちが参加しています。2014年には、桐生・太田・前橋、各支部連携し、『紙ぶるる』のワークショップを開催しました。

集い・役員会議

会員を対象に、集いを開催し、県内の会員及び各支部の情報を共有をし、交流、親睦を深めながら、女性委員会の事業の計画へとつなげていっています。また、役員会議も通常の会場から離れ、県北部での開催も試みしました。

環境講座

女性委員会では、県内各地で、環境講座を開催しています。環境を多様に捉え、さまざまなテーマで開催していますが、この講座は、一般の方にも参加していたくことも特徴となっています。

ワークショップ



集い・役員会議



2010 吉岡町 道の駅(集い)

2020 館林市 文化会館(集い)

2014 川場村 忍湯里集(役員会議)

環境講座



2011 桐生市 ベーカリーカフェレンガ

2015 藤岡市 高山社跡

2015 高崎市 多胡碑

2016 伊勢崎市 明治館

2016 伊勢崎市 旧町宿跡

2017 前橋市 臨江閣

2018 富岡市 市庁舎

2019 吉岡町 森田家

各支部活動

各支部においても見学会等積極的な活動が行われています。なかでも、平成25年に世界遺産に登録された富岡製糸場をテーマに富岡支部では継続した研修会等を開催しています。



富岡市 富岡製糸場

高崎市 表筒劇場

前橋市 県庁前和庁舎

伊勢崎市 田島弥平田宅

2005



第1回
11/19
熊谷市 聖パウロ教会
【ゴスペル、HPO率いる
熊谷のマスコタイヤをお迎えして】
参加者：70名



バリトン歌唱

構

2006



第2回
8/26
寄居町 正龍寺
【田中之雄氏 薩摩琵琶】
参加者：150名



薩摩琵琶

響

2007



第3回
11/3
深谷市 旧七つ梅酒造
【馬 高彦氏 旗印氏 二胡】
参加者：120名

私達の近くにある、
造り手やそこで時を
過ごした人々の情熱
が感じられる構造物
(名建築)を知ってい
たいです。

構

楽

2008



第4回
10/18
熊谷市 平山家住宅
【国重要文化財】
【堀川 泰典氏 フルート】
参加者：170名

近づきにくかった名
建築に足を運ぶさっか
けとなる音楽の響きに
酔っていたんです。

響

残したい、伝えたい…
受け継がれた「魂」を
心で聴く「命」の響きを

2009



第5回
9/26
熊谷市 根岸家長屋門
【熊谷市指定建造物】
【原田 真雄氏 バリトン】
参加者：200名

そして、そこでの出
会いを楽しんでいた
かったです。

楽

女性委員会30周年記念事業

埼玉版ウーマノミクスプロジェクト連携企画
平成28年11月12日 参加者200名 ラフレさいたまにて
～健康～すこやかに築く～



女性委員会10年間の集大成として、團紀彦氏の講演、懇親会を開催いたしました。



建築家 團紀彦氏の講演
テーマ「共に生きる建築」



来賓の方々との記念撮影



30周年記念誌表紙



平成28年11月13日
埼玉新聞に掲載
されました



懇親会にて
功労者 塩川氏と
歴代委員長の方々

研修見学会 東北ブロック女性委員会秋田大会参加
平成26年9月6日～7日 参加者16名



秋田建築士会のご案内により
重要伝統的建造物群保存地区
(内蔵)見学



「女性の目線で考えた身近なところにある建築学」として、異業種の女性専門家の講演、勉強会、見学会を行いました。

平成26年11月18日
～原点回帰～ 参加者60名
平林寺修復工事及び庭園見学
ゴリラの画家 阿部知暁氏 講演



画家 阿部知暁氏
講演後の記念撮影
県南支部幹事と女性委員

建築士会全国大会 さいたま大会
平成30年10月26日 大宮ソニックシティ

～歴史に感謝 未来に約束～



女性委員会
交流セッション 指導 木目込み人形伝統工芸士 森田和雄氏
～木目込み人形を作ろう～



平成27年11月27日
埼玉版ウーマノミクスプロジェクト連携企画
～和・伝統～ 参加者107名



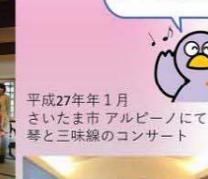
としがわ和紙
「慈光寺」にて手漉き和紙体験
女性伝統工芸士 谷野裕子氏 講演

毎年の恒例行事として建物見学、会食会を開催しております。

新年座談会



平成27年1月
さいたま市 アルビノにて
琴と三味線のコンサート



平成28年1月
東京都港区 とうふ屋うかいにて
和の建築と庭園見学

見学会



平成24年11月13日
参加者20名
栃木県 村櫻石灰工業



平成30年2月17日
東京都丸の内
三菱第一号館美術館



平成25年11月6日 参加者25名
左：西湖いやしの里根場
右：フジヤマミュージアム



平成29年10月17日
求道会館 参加者28名
所有者の東京建築士会長 近角氏と
参加者

東京建築士会 女性委員会
会員数 28名 1984年設立



神奈川県丹沢の森林見学



木造の小学校：七沢希望の丘初等学校見学

見学会・勉強会



■公開シンポジウム

隔年でテーマを設定して、公開シンポジウムを開催しています。第13回目の今回は「木がっつく森と建築」をテーマとしました。講師：山辺豊彦、三澤文子、中野敦之各氏



保存への活動 まちをつくる建築—東京都中央区—

時代を経て大切に守られてきた建物は、まちの豊かさを増しています。まちをよりよくする活動に、建築士も力めています。

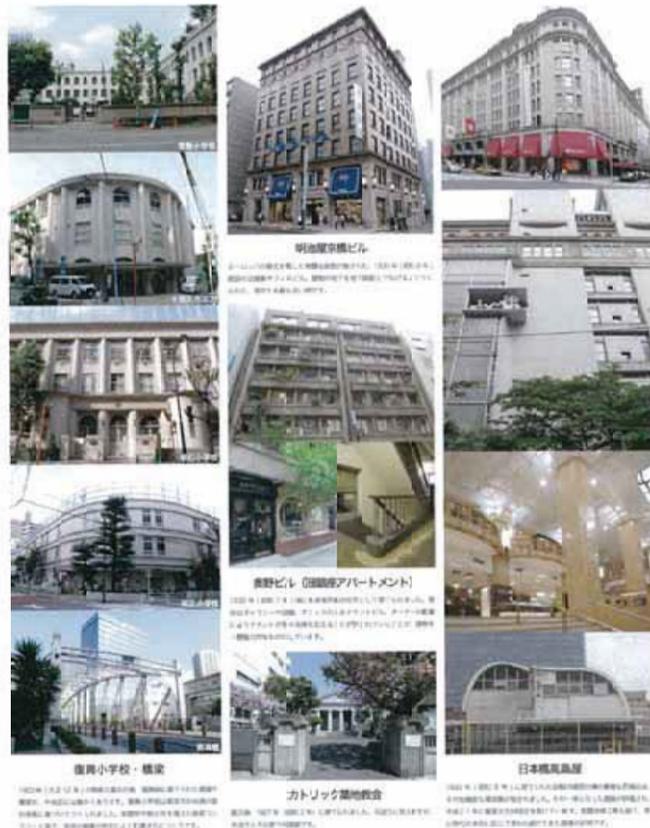
■歴史的な建物とまちなみ

1923年(大正12年)の関東大震災の後、復興期に建てられた建築や橋梁が、中央区には数多くあります。復興小学校は東京市の共通の設計規格に基づいてつくられました。耐震性や耐火性を備えた鉄筋コンクリート造で、生徒の健康や安全によく配慮されたつくりです。

復興小学校の中で最初につくられた、中央区立明石小学校(1926年竣工)の建て替え計画に対して校舎の保存運動を行っています。

■中央区ブーケ祭りへの参加

東京都中央区立女性センター「ブーケ21」にて年1回開催されるブーケ祭りに参加し、建築士会や建築士や区内にある歴史的・文化的に価値ある建築の紹介を行い、地域との関わりを深めています。



復興小学校・建築

カトリック聖地教会

日本橋高島屋



東京建築士会 女性委員会

会員数5,715名 1952年設立



女性委員会は1984年の設立以来、女性建築士としての目線や感性を活かした、自由闊達な議論を自身の糧とし、社会に還元すべく、さまざまな活動を行ってきました。

アトリエ事務所、大手設計事務所、ゼネコン、研究職、行政庁職員、大学講師等、所属先も年代も幅広く、多様なメンバー構成となっています。

期が変わる毎に開催する新旧交流会には委員会の創設者や歴代委員長をお招きし、交流を図るとともに、新しい委員会活動のヒントをいただいています。



公開セミナー 全体風景



ものづくり大学見学会



中央区主催ブーケまつり 相談窓口準備

活動のご紹介

- 月1回の委員会では各人の活動発表、座談会等を行っています。
- 公開セミナー「改正建築基準法の概要と木造の耐火性能」
開催日：平成31年4月16日(火) 会場：東京建築士会会議室
講師：安井 昇 氏(桜設計集団一級建築士事務所代表)
- 公開シンポジウム 各自が関心のあるテーマで講師を招き、これまで、毎回100名を超える方が参加
- 見学会「日本女子大学図書館・青蘭館(学生滞在スペース)」
開催日：令和元年9月28日(土) 見学地：日本女子大学
講師：妹島 和世 氏(妹島和世建築設計事務所代表取締役)
- 委員向け見学会「ものづくり大学」「武蔵野美術大学」
- その他活動
中央区主催「第18回ブーケ祭り」(令和元年6/21(金)~22(土))
本会及び委員会活動の紹介、住まいやリフォームの相談窓口開設。



コロナ禍による自粛前にはこのような、心温まる会も開催していました。

神奈川県建築士会 女性委員会 会員数 15名 平成4年設立

江の島に行こう！

～江の島の景観まちづくりを親で考える～

江の島にある歴史的建築物を景観・まちづくりの観点から見学し、保全・活用についての考えを深めるため、女性委員会で見学会を開催いたしました。

平成21年9月19日(土)16名が参加し、江の島弁財天、サムエル・コッキング苑、岩本楼の王朝風ローマ風呂などを見学、かながわ女性センターにて、本センター見学の後「景観法を活用した新しいまちづくり」について、神奈川県都市整備公園課井上憲司技幹からご講義をいただきました。

平成21年度の主な活動

- 7月17日～18日 平成21年度全国女性建築士連絡協議会(長野大会)
- 9月18日 平成21年度第1回関東甲信越建築士会ブロック会女性建築士協議会議
- 9月19日 『江の島へ行こう！』～江の島の景観まちづくりを見て考える～
- 10月16日 第52回建築士会全国大会(山形大会) WESニュース48号発行(10月)
- 12月9日 『契約約款などの勉強会』
- 3月14日 第7回神奈川県建築士会活動交流会
- 3月30日 平成21年度第2回関東甲信越建築士会ブロック会女性建築士協議会議 WESニュース49号発行(3月)

平成4年4月、女性委員会発足とともに第1号を発行した「WESニュース」は、平成21年度までに49号を発行。

「残したい!伝えたい!!」

～歴史的建造物を後世に～

平成22年3月14日(日)午後1時から、横浜市開港記念会館講堂にて、第7回神奈川県建築士会活動交流会を開催し、基調講演、活動発表、パネルディスカッションによって、歴史的建造物の保全活用に関する様々な取組と、貴重なご意見を伺いました(149名が参加)。

今回は、県庁職域支部、技術支援委員会、女性委員会、青年委員会の1支部3委員会が連携して企画・運営にあたりました。



講堂にて参加者による記念撮影

女性委員会青年委員会ジョイントサイト(ホームページ)には、今後の企画をお知らせと、これまでの活動報告がぎっしり!ぜひ、ご覧ください!

神奈川県建築士会 女性委員会

会員数15名 1989年設立

第6回コロナセミナー「災害図上訓練(DIG)体験ワークショップ」2018.11.17

女性委員会・防災委員会の共催で第6回防災セミナーを藤沢市役所新庁舎で開催しました。自分たちの生活する場所の地図を広げ、地形や道路、カソリンスタンド、役所、学校など都市施設を地図にマーキングし、地域の防災力をゲーム形式で読み解くワークショップです。今回は茅ヶ崎の地図をもとに3班に分かれ、各々の地域の防災力を検証し発表しました。



3班に分かれ、それぞれの地区を読み解く



DIGによって出来た地域の防災マップ

税理士による税務セミナー～これからの財産の守り方『家族信託』～2019.1.23

もし地主や企業の相続問題が免端で建築計画が頓挫したら…。税理士の留目津氏を講師に迎え、家族信託という新しい制度について、青年委員会とコラボでセミナーを開催しました。また茶谷委員長の折り紙建築ワークショップも開催し、横浜税関の折り紙建築を制作しました。



税務セミナーの様子



折り紙建築制作の様子

関東ブロック大会埼玉大会 2019.6.21/23

関東ブロック大会埼玉大会に女性委員メンバーも参加しました。



各県の発表者

第29回全国女性建築士連絡協議会 東京大会に参加 2019.7.12～13

全国の女性委員会の方々との交流を深めました。翌日は各一興味のあるセッションに参加し、他県の活動報告や意見交換などを行いました。



大会の様子

全国大会 函館大会 2019.9.20～22

全国大会函館大会に参加しました。前日青森を観光し、新鮮な函館へ、エキスポカーションでは函館市内を巡りました。



エキスポカーション



神奈川県受賞者(女性委員会メンバーも！)

セミナー「大きな模型・小さな模型」～ものづくり大学製作「カップマルタン休憩小屋」レプリカを通して～ 2019.7.6

大きな模型としてものづくり大学から大竹助教をお招きし、原寸大プロジェクトとしてコミュニティの「カップマルタン休憩小屋」と「待機」についてセミナーを開催。小さな模型として折り紙建築ワークショップ開催。「国立西洋美術館」折り紙建築を制作しました。県外からの参加者もあり、大変盛況なセミナーとなりました。



国立西洋美術館の折り紙建築



参加者記念撮影

「魅力ある和の空間」見学会2019

昨年に引き続き、「魅力ある和の空間」見学会を2019年は4回開催しました。神奈川県内には多くの歴史的に価値のある和の空間が存在します。見学だけでなく、保存活用のワークショップ参加など、活動の場を広げていきます。



旧小岩井家住宅(横浜市) 2019.3.10



松永記念館(小田原市) 2019.9.10



旧青柳寺庵(相模原市) 2019.8.24



萬葉楼(箱根町) 2019.9.10



雨島文庫 山口家住宅(伊勢原市) 中支部共催見学会 2019.11.16



出前ワークショップ 子ども向け折り紙建築講座 2019.11.16

伊勢原市立石田小学校PTA おやじの会、ボイ俳優部さん主催で子ども達を対象に「折り紙建築講座」の依頼があり、茶谷委員長によるワークショップが開催されました。(青年委員会、女性委員会共催) 子ども大人も夢中になりました。



作品を持って記念撮影



プラダンで国立西洋美術館



女性委員会6月定例会は場所を変えて開催 その後校子パーティで交流を深めました

神奈川県建築士会女性委員会 活動レポート 2018.11～2019.11

山梨県建築士会 女性部会
会員数 65 名 平成元年設立

山梨

女性部会 周年表

- 平成元年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成2年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成3年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成4年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成5年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成6年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成7年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成8年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成9年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成10年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成11年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成12年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成13年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成14年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成15年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成16年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成17年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成18年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成19年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成20年 山梨県建築士会女性部会発足
- 平成21年 山梨県建築士会女性部会発足

「逆さ富士」
寒い時けさの中に
凍りついた強さがある
そしてなにより
美しい
建築士として
女性として
こうありたい

◆活動方針◆

私たち山梨県女性部会は平成元年に発足し20年の節目を迎え、また新たな気持ちで第一歩を歩み始めています。
また山梨では女性建築士が少ない中でスタートした女性部会でしたが、今では65名が所属し多方面で活躍しています。全国から比べると少人数ですが、勉強会や見学会・レクリエーションを通して交流を深め、部員の活発な参加を目指しています。最近では地域住民参加型の座談会や講演会などを行い、多くの市民の方々の「生の声」を聞く機会を設けて活動しています。
私たち女性には、仕事・家庭・子育て・介護と時が流れるなかで様々なことを経験します。時には「これでいいのかな?」と思ってしまうこともあります。そんな時こそ同じ志をもつ女性部会の仲間がいる心強さ、そしてお互いに切磋琢磨し技術向上を目指す部会でもあります。将来的には職域を生かし微力ながらも社会貢献ができることを目標としています。

わたしたちの目でみるユニバーサルデザイン ~現在から未来へ伝えたい~

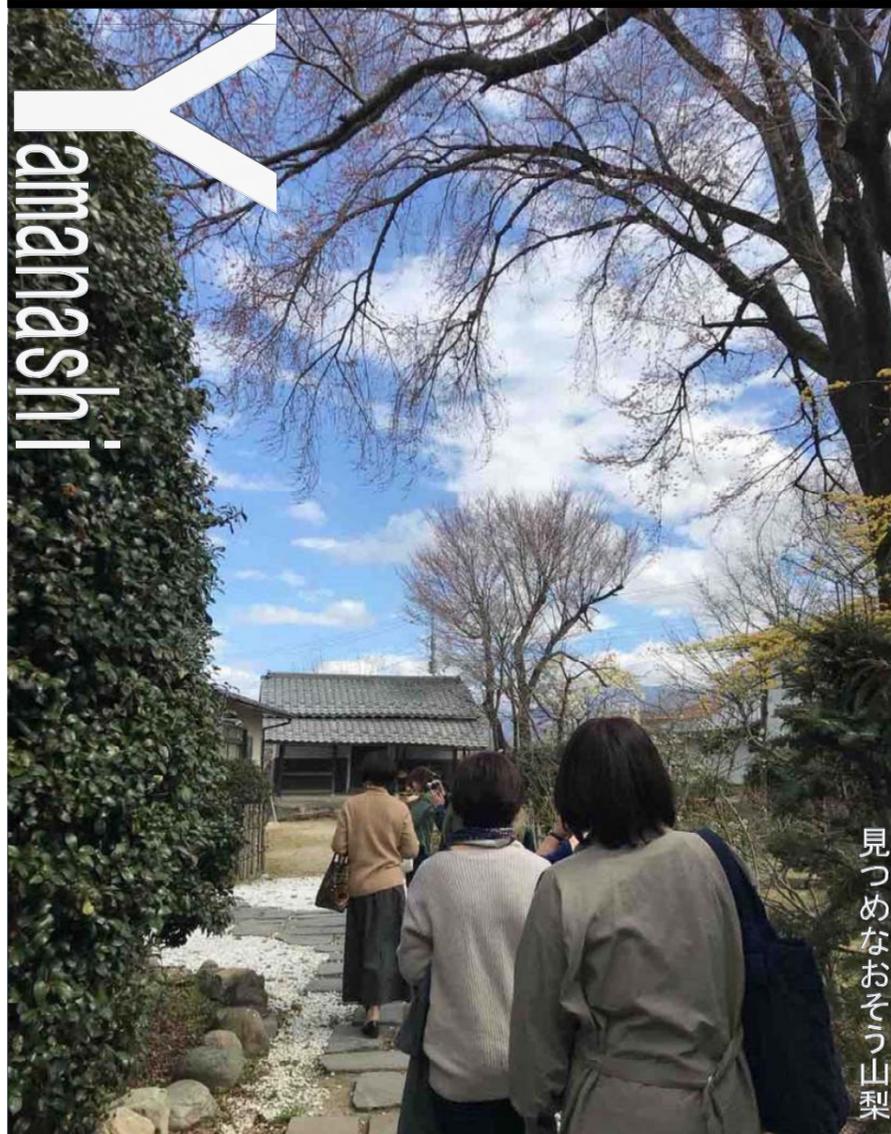
「子供を連れて歩くのに不便なところが街の中にはたくさんあります。行政との意見交換会ができませんか?」年度始めの部会活動希望調査での部会員からのメッセージ。まさしく同感!!では、健康者の私達がこれだけ不便を感じる街は、高齢者にとっては?身体的に障害があったら?妊婦の時の不便さや子供の声を届けられるのは、女性である私たちならではの?こんな思いが20周年でUDに取り組むことになったきっかけです。
UDとは何ぞやから始め、街並み調査・県外の街並み見学を経て、女性部会街並み提案「あったらいいな~の街づくり」をまとめました。その後の地元住民のアンケート調査、住民参加の勉強会を重ねる中で感じるのは、いろんな人が「集まれる・集まりたくなる環境」が、UDの街づくりの原点であるという事。
そこにいるひとと街が、安全・安心に社会参加できるように「あったらいいな~の街づくり」へ、1歩1歩近づけたらと皆で取り組み、UDの輪がだんだん広がっています。



20周年記念誌「わたしたちの「みる」・「つくる」ユニバーサルデザインのある街」

山梨県建築士会 女性部会

会員数69名 1989年設立



「活動方針」
私たち、山梨県建築士会女性部会は設立30周年の節目を迎え、新たに会員になった建築士から、子育て中の建築士、30年の歴史と一緒に歩んできた建築士69名が在籍しています。同じ仕事をしている仲間同士だからこその安心感からか、子育てや介護の悩み、仕事での困ったの相談。そして時には活動を通して楽しい時間を過ごして、励ましあい、今ではかけがえのない仲間になっているのではないかと感じています。
そしてこれまでの30年間の活動を通しての経験、技術、築き上げてきた絆をさらに深めながら、女性部会活動に取り組んでいこうと思っています。
又近年では、ものづくりワークショップや高校生への指導、建築士合格者との交流などを通して、未来への建築士の増加、技術向上を大切に活動していきます。



見つけなおそう山梨

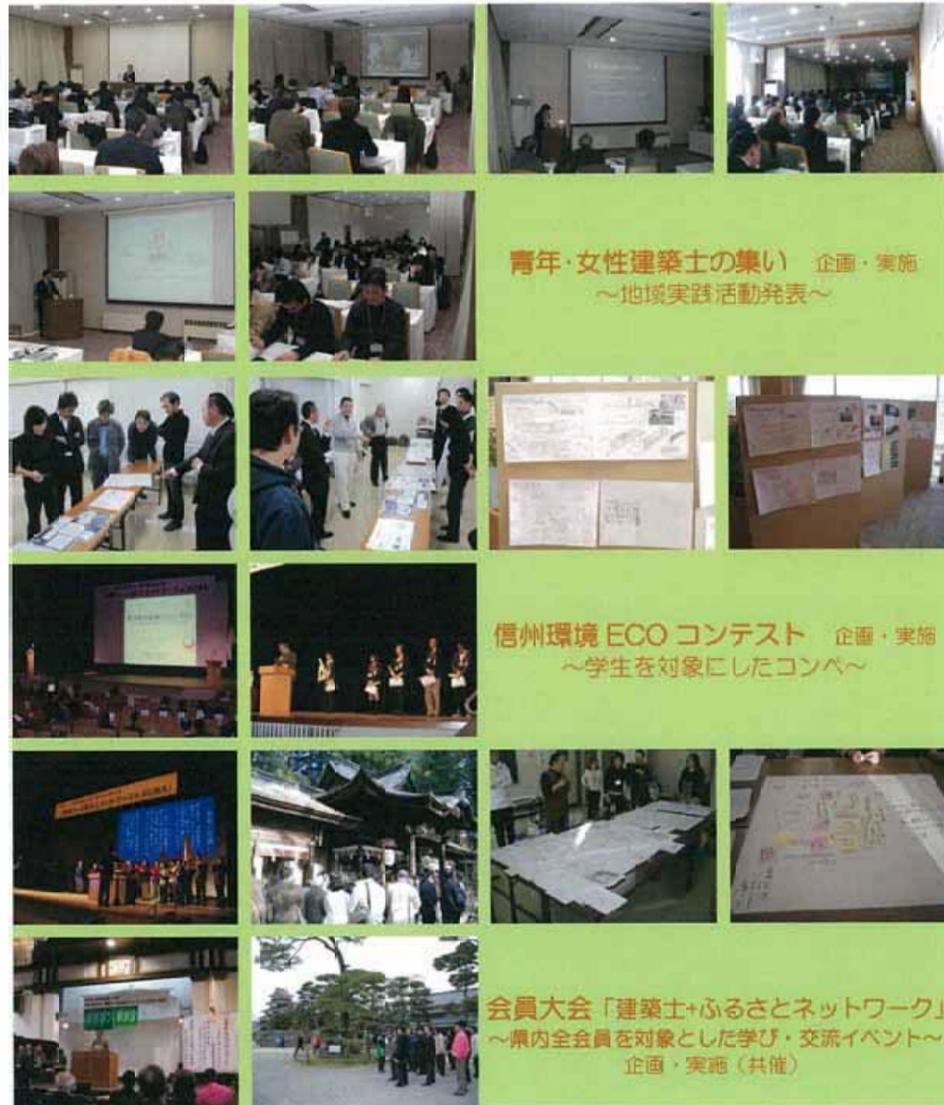
「見つけなおそう山梨」知識を深めつつ部会の親睦をはかる継続的活動のひとつとなっています。県内の歴史ある建物・街並みを女性建築士の視点で「見て」、巡る地域の方々やボランティアさんにもご協力をいただき詳しい解説を「聞いて」その地域ならではの空気を「感じて」充実した時間を過ごしています。お子様と一緒に親子で気軽に参加できる企画となっています。こどもたちも幼いながらもこども目線で知らない山梨を「見て」「感じて」もらえ「文化の継承」につながっていると考えています。「夏休みものづくりWS」夏休みを児童館や学童で過ごす小学生を対象に、「建築士のできること」とし、モノづくりの楽しさを伝えるワークショップを開催しています。新聞ドーム、ストローハウス、折り紙建築にチャレンジしてもらい自分たちの力で作品を完成させてもらいます。お声かけいただく先生より、こどもたちの集中力と想像力・創作力を引き出し、いつも見れない表情が見られると絶賛いただいています。キラキラしたまっすぐな目線で真剣に取り組む姿に、担当スタッフも元氣や勇気もらい、励みとなっています。



夏休みものづくりWS
2020

長野県建築士会 青年・女性委員会
女性会員数 239名 平成9年設立

(会員数3,264名の内、女性会員数239名；平成22年3月末時点)
(平成17年度より青年・女性委員会として組織改組)



信州環境エココンテスト
毎年開催をしている信州環境のエココンテストを青年女性委員会単独の開催となった今回は、第10回の記念会でもあることから、発表者のみならず多くの生徒の参加を促す意味で、学生が普段接点を持たない企業の参加も得ながら、大勢の方の参加型のイベント企画を行った

第10回信州環境ECOコンテスト 335作品の中から一次通過者の公開プレゼンによる二次審査



約200名強の参加者を得、建築士sessionを12月16日開催した。今回のsessionは二部制で構成をし、第1部では応募総数335作品の中から一次審査を通過した15作品による『第10回信州環境ECOコンテスト』の公開プレゼン二次審査を行い、最優秀賞他個人の表彰と、団体としての最優秀校の選出も行った。第2部では松枯れ材を利用し木育もかねての参加型の積み木を使ったWSを行い、大勢の参加・体験者によりメディアでの取り上げもあり地方紙ながらも1面での取り上げられ注目が集まった。現在も積み木WSは色々な場所・学校で行われている。

愛知建築士会 女性委員会
会員数300名 1988年設立



ワークショップ

AFA
AFA
AFA

わたらしい住まいづくり
を目指して



見学会



パネル展



セミナー

勉強会

愛知建築士会 女性委員会

会員数282名 昭和63年設立

わたらしい住まいづくり

令和2年度で30回目を迎える恒例企画、一般の方に女性建築士の仕事や活動を知っていただく機会として開催しています。

- セミナー 建築分野だけでなく、街づくり、不動産、社会問題に関わる方を講師としてお招きしています。
 令和元年度 大島 芳彦氏 「なぜ今、リノベーションを考えるのか」
 平成30年度 川上 浩司氏 「不慣れたモノのデザイン」
 平成29年度 西郷 真理子氏 「ライフスタイルがまちをつくる」
 平成28年度 田村 誠邦氏 「縮退社会における建築再生と不動産コミュニティ」
 平成27年度 三浦 展氏 「つながりを生み出す家と街」
 平成26年度 藤村 龍至氏 「3.11後の建築を考える」
 平成25年度 いしまる あきこ氏 「建築的「かけさん」」
 平成24年度 藤村 正之氏 「少子高齢時代のライフスタイル」
 平成23年度 園田 眞理子氏 「高齢期の住居の何が問題か」
 平成22年度 中村 昌生氏 「和風建築の極意」
- 女性建築士の作品パネル展
 女性建築士が携わった住宅などの建築作品や活動をパネル展示しています。毎回30枚ほどのパネルが集まります。近年は「収納」「家事楽」など女性視点のテーマに沿ったパネルを集めるなど工夫をしています
- 絵本読み聞かせワークショップ
 住まいや街づくりについて考える機会を提供したいと思い、住まいに関連した絵本の読み聞かせを平成30年度より始めました。令和元年度は折り紙でつくったおうちで街をつくるワークショップも合わせて開催しました。



防災セミナー

- 令和2年度で10回目を迎えます。防災と一口にいっても多岐にわたります。建築士としてだけでなく、地域との関わり、日常生活など、毎回考えさせられる貴重な時間となっています。
- 令和元年度 武村雅之氏 「過去を知り未来に備える」
 平成30年度 松本真理子氏 「高めようこころの減災能力」
 平成29年度 近藤ひろ子氏 「いざというとき建築士だからできること」
 平成28年度 阪本真由美氏 「避難所での女性への配慮」
 平成27年度 北野哲司氏 「ライフライン防災」
 平成26年度 川崎浩司氏 「南海トラフ巨大地震・津波に備えて」
 平成25年度 廣井悠氏 「帰宅困難者対策とこれからの都市防災」
 平成24年度 西澤泰彦氏 「不都合なことを考える」
 平成23年度 福和信夫氏 「東日本大震災に学び明日に活かす」

見学研修会

- 県外の有名建築や地元愛知県の名建築を見学しています。
- 令和元年度 碧南市 哲学たいけん村無我苑 藤井達吉現代美術館(碧南市)
 平成30年度 万博記念公園太陽の塔(大阪市) 松殿山荘(宇治市)
 平成29年度 とこなめ陶の森陶芸研究所(常滑市)
 平成28年度 カフェレオン(高山市) 富山市ガラス美術館キラリ シェア金沢
 平成27年度 箱木千年家 舞子公園(神戸市) 竹中道具館(神戸市)
 平成26年度 海の博物館(鳥羽市) 伊勢神宮外宮 せんぐう館(伊勢市)
 平成25年度 起震閣 旧日向邸 MQA美術館 (熱海市)
 平成24年度 北政名作家員および ファン・ユール自邸 (高山市)
 平成23年度 薬師寺 唐招提寺 今井町(奈良市)

講習会

- 年に2、3回開催しています。実務に直結することから、生活に関わる分野まで、専門家を講師に招いています。
- 令和元年度 「すぐに役立つパーステクニックⅡ」 北浦かほる氏 「住まいの絵本の魅力」
 平成30年度 「すぐに役立つパーステクニックⅠ」 品川友美氏 「建築士からみた住まいの提案」
 平成29年度 大月敏雄氏 「超高齢化社会の居場所づくり」
 平成28年度 「認知症のための住宅改修と介護保険制度」
 平成27年度 「長屋リノベーション体験講習会」 吉田慎悟氏 「まちのいろを考える」
 平成26年度 「マンションリノベーション体験講習会」 「愛知の地盤を知る～土地と基礎のお話」
 平成25年度 いしまるあきこ氏 「建築的きっかけづくり」 多治見タイル工場見学会 「バッグの中の防災セミナー」
 平成24年度 住宅見学会
 平成23年度 岡本信也氏 「考現学から見た町と住まい」

(社) 岐阜県建築士会 女性委員会 委員数 22名
 1987年 女性グループ会(仮)として活動開始
 1989年 女性委員会設立～現在に至る。

近年の活動報告

◆ 佐川美術館と
ヴォーリス建築見学会

【岐阜県インテリアコーディネータークラブ協賛】
 日時：平成21年11月13日(金)
 見学会所：佐川美術館、近江八幡市内のヴォーリス建築物
 参加者：19名



美術館と隣りにて集合写真



歴史建築 田代郵便局内にて説明を受ける

◆ 第29回 建築文化講演会

日時：平成21年9月5日(土) 14:00～17:00
 会場：岐阜県未来会館 ハイビジョンホール
 講師：建築家 宇野重吉氏、平塚由比氏
 演題：『うつろいゆく未来-Nostalgic Future』



受付を女性委員が担当

◆ 研究会(講演会) サクラヒルズにて

日時：平成22年3月26日(木) 12:30～15:00
 会場：滋賀県サクラヒルズ 川上別荘内 レストラン「ブナポート」
 テーマ「フランス・ロイド・ライトについて」 講師：河野俊幸氏
 参加者：13名



講演会風景

◆ 各務原見学会

日時：平成21年12月4日(金)
 見学会所：各務原市内
 参加者：6名



学びの森にて昼食



飯沼の森 伊東豊雄氏の設計 轉居初期の公衆トイレ

◆ 第9回 気楽にらくだ会
in高山

日時：平成22年1月16日(土) 11時～16時
 会場：ひとまちふらほ かんかこかん 2階
 参加者：19名

- 第一部 高山駅からかんかこかんへ移動
- 第二部 昼食交流会
- 第三部 講演会「バリアフリーのまなびづくり」
 講師：高山市高齢者福祉部市役所 浦谷公平氏
 高山市企業管理部長 森山貴氏
- 第四部 バリアフリーと正しい見学の見学会



講演場での集合写真



講演会の様子 昼食交流会の様子



高山の町歩き 吉高家住宅見学

◆ 東海北陸ブロック会 後編

女性建築士協議会 福井県支部会
 開催日：平成22年1月27日(土)～28日(日)
 開催場所：会場 小浜市中央公民館
 開会式 岐阜県若狭若狭まき文化館 マリンデック
 参加者：4名



開会式にて、青年と一緒に来年度会期ブロックを岐阜県高山市で開催のPRをする。

◆ 建物調査「トイレ調査」

岐阜県内の公共施設のトイレ調査 年数回



士会の見学会員と一緒に調査

◆ 勉強会

日時：平成21年8月28日(木) 13:00～14:30
 場所：岐阜県会館 3階 第2会議室
 参加者：14名
 岐阜県会館1階を利用
 講師：岐阜県建築指導課 河野氏
 テーマ：「最近の建築士法改正について」



講習風景

詳しくは下記のアドレスにて(社)岐阜県建築士会のホームページより女性委員会へ
<http://www.gifokenshikoshakai.jp/>

岐阜県建築士会 女性委員会

会員数26名 1989年設立

学ぶ

普段の仕事に役立ちそうな研修会



(研修会：片付けセミナー)

知らせる

一般の方に建築士を知ってもらう活動



(建築士の日フェスティバル)

出かける

建築物の見学会



(バス見学会 聴竹居)

交わる

全国大会・全建女など他府県の女性建築士の方との交流



(全建女 高知大会)

集う

建築に関わる女性が集まり交流



(気楽にらくだ会)

伝える

未来の建築士達との交流



(たくみ女子会)

(社) 三重県建築士会 青年委員会女性部会
会員数76名 1991年設立

2009年2月東海北陸後期ブロック静岡大会にて、分科会を担当



2009年6月東海北陸前期ブロック会議を、三重県桑名市にて開催



調理器比較体験
 2009～2010年度の女性部会員向け活動
 町並み見学:伊賀上野
 町並み見学:四日市



2009年9月より女性部会員向けに《みけじよ通信》を毎月発行
 情報提供と共有を図り

三重県建築士会 女性委員会

2014年委員会設立
 女性会員数64名(2020.06現在)

はじめの一步

1988(S63)年3月 第1回女性建築士委員会準備連絡会発足
 1989(H元)年3月 東海北陸ブロック会女性建築士協議会準備会
 1991(H3)年5月 全建女(大阪)に鈴木喜久子準備委員長出席
 1991(H3)年9月 青年委員会内に女性部会設立

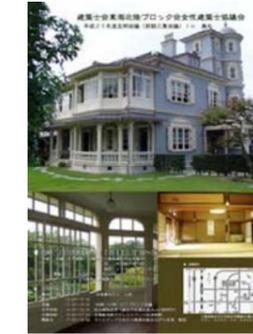
1995(H7)年 前期桑名会議
 1998(H10)年 後期伊勢会議
 2002(H14)年 前期津会議
 2006(H18)年 後期四日市会議



2009(H21)年6月
 ブロック前期桑名会議・20周年記念事業

2009(H21)年8月
 女性会員向けに「みけじよ」通信第一号発行

任期	役職	氏名	所属支部	任期	役職	氏名
563～R2年度 女性部会長・女性委員長・ブロック役員一覧 2020.06作成						
563～R2年度	女性部会長	鈴木喜久子	津支部			
563～R2年度	女性委員長	鈴木喜久子	津支部			
H3～H5年度	女性部会長	藤田美津子	津支部			
H7～H10年度	女性部会長	藤田美津子	津支部			
H11～H14年度	女性部会長	渡辺ゆき子	津支部			
H15～H17年度	女性部会長	木下利子	伊勢支部	H16～17年度	ブロック運営委員長 兼 津支部女性委員長	渡辺ゆき子
H18～H19年度	女性部会長	藤田美津子	津支部	H18～19年度	ブロック副議長	渡辺ゆき子
H20～H21年度	女性部会長	伊藤美津子	三岐支部			
H22～H23年度	女性部会長	大森尚子	津支部			
H24～H25年度	女性部会長	田中文化	津支部			
H26年度	女性部会長	田中文化	津支部			
H26～H27年度	女性委員長	森本千代	津支部			
H28～H29年度	女性委員長	津山美津子	津支部			
H30～R元年度	女性委員長	中野 恵	松阪支部	H30～R元年度	ブロック運営委員長	大森尚子
R2～	女性委員長	三浦 伊賀支部	R2年度～	ブロック副議長 兼 津支部女性委員長	大森尚子	



2010(H22)年



2011(H23)年後期鈴鹿会議

2012(H24)年



2014(H26)年



2017(H29)年



2018(H30)年後期亀山会議



2019(R1)年



富山県建築士会 女性部会

会員数205名 1985年設立

■主な活動内容

- ・企画事業及び各部会との共働事業・女性部会たより
- ・女性部会ブログ及びメーリングリスト・対外事業参加

平成21年度活動内容

5月 総会&見学会	部会企画事業 8月 ケヤキの家見学	1月 講演会
見学先『片山学園中学、高等学校と 学生寮、グリンビュー立山』 1泊2日で場会、見学会、懇親会を開催。 建物は、北陸初の私学 の中高一貫校。設計者の 説明を交えながら見学。	『樺の家見学&交流会』 お寺3軒分を再利用した樺造りの家での、 見学会&バーベキュー交流会。 仕事を離れて、楽しく 美味しいひととき	『イギリスの家具・インテリアに学ぶ』 富山大学芸術学部 丸谷芳正教授 イギリスの海外研修において体験した 現地の家具製作の現場 や、歴史、椅子の特徴な どについて、

まちづくり部会共働

『ユニバーサルデザインセミナー&うるおい景観ツアー in 金沢』

(12月)

類似事業や企画を合同で行うことにより、建築士会の活性化と経費の削減を目指しながら、凝縮した内容の活動を実施する共働事業。
TOTO ショールームにて高齢者疑似体験、金沢建物探訪、ユニバーサルデザインセミナー、うるおい景観ツアーなど充実した1日をお過ごし。

青年部会共働

『県産材子どもの城づくり事業』

(過半事業)

木に親しみ、園児や保護者と共同で県産材を利用した遊具を製作する、部会間の協力と交流により、建築士会の活性化を目的とした共働事業。
■主な活動：森の見学会、ペーパーハウスづくりから建築、竣工式まで

富山県建築士会 女性委員会

会員数174名 1985年設立

2015年度(平成27年)

テーマ：つながる・つなげる



企画◎2015年7月5日
富山市 富山県会館にて活動報告会
30周年記念トーク&セッション
ロングライフデザイン活動家 ナガオカケンメイ氏
その後は、



県会館内「D&department Cafe」にて
富山県建築士会女性委員会30周年記念交流会



企画◎2015年9月12日
南砺市 IOKAROSA山頂レストランにて
お仕事報告会[建築×グリーン]
建築家 山中路代氏、造園家 水牧貴子氏



企画◎平成27年11月23日
新湊市 米田木材株式会社 社屋にて
建築家 濱田 修氏講演会[建築×環境]
建物見学会、懇親会

2016年度(平成28年)

テーマ：TRY・FEEL



企画◎2016年5月21日
高岡市土蔵造のまち資料館「HABLUNJO」にて
活動報告会、伝統工芸体験会



餅(すず)の「ぐい飲み」作り体験



企画◎2016年9月17日
高齢者・障がい者・児童福祉施設
「あしたの森」にて見学会



企画◎2016年11月26日
南砺市のカフェ「なやかふえ」にて
仕事報告会
建築職人・河島氏
富山市職員・鶴野氏

2017年度(平成29年)

テーマ：チソカツ(地域素材活用)



企画◎2017年7月27日
水見市(株)タニハタにて、
活動報告会と工場見学会



組子の製作体験

パーツだけをもらって、
組み立て方を自分で考えます。
親子で参加された方も。



企画◎2017年9月16日
水見市(株)岸田木材及び水見里山周辺にて
森の見学会、講演会(岸田氏)、工場見学会



企画◎2017年11月18日
立山町 陶芸工房兼住宅にて
仕事報告会、工場見学会、懇親会
陶芸家 釋永 陽氏

2018年度(平成30年)

テーマ：空き家、既存建物の活用について考える



企画◎2018年5月3日
富山市城址公園内 本丸亭にて
活動報告会、お茶室セミナー



移築・修復された明治期のお茶室で
お茶室のマナーを学びました。



平成30年度前期定期例(富山)会議
2018年6月23日 ポルフォート富山にて



企画◎2018年9月24日
南砺市井波「やえもんや」にて
リノベーション事例見学会&講演会
建築家 山川智嗣氏、山川さつき氏

2019年度(令和元年)

テーマ：空き家、既存建物の活用について考える



企画◎2019年5月22日
新湊・内川ベリオフィスマbalab&水辺の民家ホテル「カモメ」と「ウミネコ」にて
活動報告会とリノベーション事例講演会&見学会



講師：建築家 濱田 修氏
懇親会では、内川の景色を眺めながら、
カフェのデリバリー料理を味わいました。



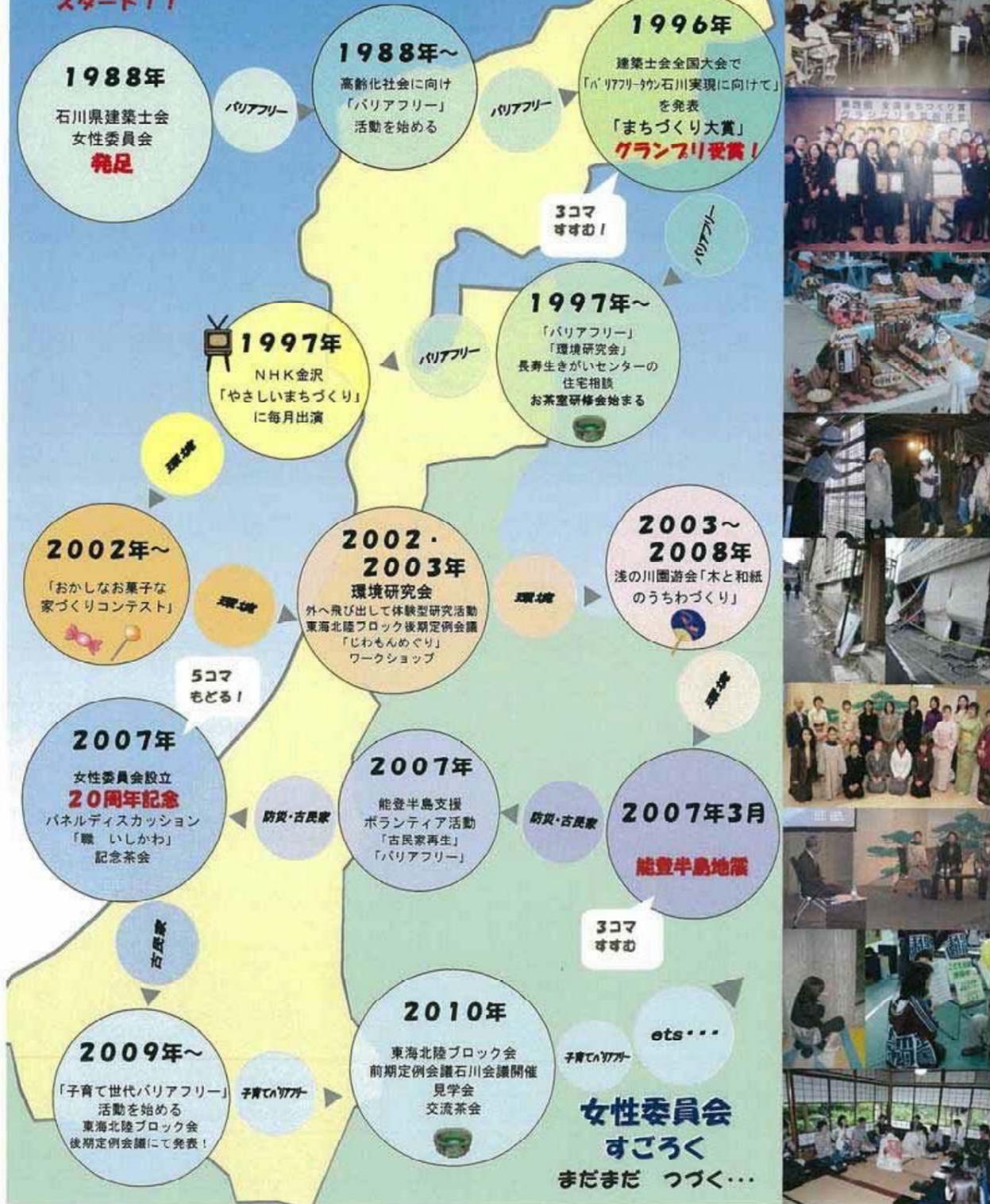
企画◎2019年9月25日
空き家に関する相続を学ぶ研修会
講師：吉村 征一郎氏(株)step代表



企画◎2019年12月1日・喜代多旅館にて
リノベーション事例見学会&講演会
講師：明石博之氏(株)グリーンノートルベール代表

(社)石川県建築士会 女性委員会
 会員数121名 1988年設立

女性委員会すごろく
 スタート!!



石川県建築士会 女性委員会

会員数140名 1988年設立

バリアフリー活動

昭和63年に女性委員会を発足する時のテーマが「やさしいまちづくり」でした。バリアフリー増改築出張相談、施工者講習会、バリアフリータウンチェック等の活動を基に「女性建築士フォーラム」を開催し、その活動を平成8年の建築士会全国大会で「バリアフリータウン石川実現に向けて」と題し発表して、まちづくり大賞グランプリを受賞しました。それを契機に知事は「バリアフリー元年」と位置付け、石川県バリアフリー条例の策定や関係予算化を図り誰にでも優しい住まい・まちづくり推進へ前進した経緯があります。今後の女性委員会活動がより社会貢献になるよう努めていきます。



お茶会

女性委員会では設立当初からお茶会の勉強と会員相互の親睦を深めることを目的に定期的にお茶会を開催しています。石川県は茶の湯の盛んな土地で、新旧を問わず多くの茶室があります。お茶を体験することは茶室や、それに伴う路地・お庭等を体験することにもなります。堅苦しくなく和気あいあいと交流をしつつ知識も深める。お茶会を維持していくために修繕が必要な時に貢献できるよう研鑽に励んでいます。



石川県の 魅力ある和の空間

石川県は戦前から建築が多く残る土地です。加賀藩前田家や武家ゆかりの建築や文化、今も残る町家など、様々です。近年は金沢城公園周辺を中心に復元工事や整備が進められています。それらを未来に継承していくには維持保全が欠かせませんが、それには県民に関心を持ってもらうことがとても大切です。私たちは県民の方々にPRできるよう、まず自ら学び知ること努めています。



先駆者への感謝と未来への継承を目指して



交流

女性委員会は気軽に参加でき、お茶会やお茶室勉強会、新しい建築物やまちづくり研究会などそれぞれの視点で意見交換しながら親睦を深めることができます。また、お互いの仕事での協力や知識の吸収につながり、得るものが多い組織です。東海北陸ブロック・全国女性建築士連絡協議会へ参加することにより、他県の防災・減災、空家問題、高齢者の住まいづくり活動等幅広い学びの場が得られ、更に交流の輪も広がります。今後も建築士としての資質の向上そして社会貢献の輪が繋がっていくことを期待し、参加交流していきます。



30年のあゆみ

- 1988年(昭和63年) 石川県建築士会女性委員会発足 バリアフリー活動始める
- 1996年 建築士会全国大会で「まちづくり大賞」受賞 お茶室研修会 以降、定期開催
- 1997年 石川県バリアフリー条例制定
- 2002年 環境研究会 外へ飛び出して体験型研究活動始める
- 2003年 東海北陸ブロック後期定例会議にて「じわもんめぐり」ワークショップ
- 2007年 能登半島地震ボランティア活動(古民家再生・バリアフリー) 創立20周年記念事業(パネルディスカッション、茶会)
- 2009年 「子育てバリアフリー」活動始める 東海北陸ブロック会後期大会にて「子育て世代バリアフリー」活動報告
- 2010年 全国女性建築士連絡協議会にてコメンテーター「子育て世代バリアフリー」
- 2011年 石川県建築士会創立60周年記念事業 実行委員会を務める
- 2015年 建築士会全国大会石川大会に34名の女性委員 スタッフ参加
- 2016,17年 見学研修会、建物見学を通して会員交流
- 2018年 創立30周年記念事業 スペシャルトーク 委員会設立当初の先輩に聞く

これから

石川県女性委員会は発足して32年が経ちました。その間ゆっくりではありますが、女性建築士を取り巻く環境も変化してきました。今はちょうどあわいの時代。古い社会システムとAIがやってくる新しい社会の重なりあった時期。私達女性建築士にとっても旧式の価値観や働き方に縛られる時代は終わりつつあり、新しい価値観、働き方へシフトしていく時代だと思えます。そんな時代のなかで、建築士として社会にどのように貢献していくのか、どのように在るのが、大切な問いとしてあります。それは委員会活動を通して模索していきたいと思えます。また、社会や家族、仕事の变化の中でも柔軟に対応できるように交流や勉強会を通して情報交換をしていきたいです。会を発足された先駆者に感謝しつつ新しい時代へ向けてこれからも活動を続けていきます。

福井県建築士会 女性委員会 会員数 75名 1987年設立

福井県建築士会 女性委員会の活動状況

東海北陸ブロック会でのブロック事業発表「理想の児童館とは・・・」「バリアフリーカフェマップ」の製作を通して、女性の視点からの建築を考えました。



中村好文氏、岩井遼弥氏など著名人を招いた「福井県建築士会女性委員会デザインセミナー」や勉強会を継続的に開催しています。



「えいじゅクラブ」を年に一度発行し、会員の活動報告や情報提供などを行っています。



他、勉強会や青年部との交流会、見学会などの様子です。



今後も参加しやすい女性委員会を心がけ、既存の枠にはまった勉強会や講習会だけではなく、いろいろな企画に挑戦し、さらなる拡がりにつなげていきたいと思っています。

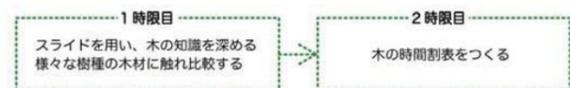
福井県建築士会 女性委員会

会員数 85名 1987年設立

住教育事業 ～木の授業～

福井県建築士会女性委員会では平成24年度より継続して県内小学校での総合学習の時間や公民館等でのイベントなどで主に高学年児童を対象とした住教育事業を実施しています。近年は様々な建材が登場し、あるいはマンション等RC造の住宅に住む子供たちも増え、古くから日本の建築を支えてきた木材・瓦・紙などの材料そのものを認識しにくい環境になっていますが、この経験を通して子供たちが伝統的な素材の特色を知り、さらには自分の居住環境に興味をもち、大人になってからの種になってほしいと考えています。

授業は「木」をテーマとし2時限で構成されています。1時限目は、木の知識を深める時間としてスライドを用いた座学を行います。植林された木が建物に使われるまでの流れや、木の特性、住宅建築に関する仕事の紹介などを話します。また6種類の樹種(スギ・ヒノキ・ヒバ・マツ・サクラ・クリ)の角材に触れ、樹種の違いによる香りや手触り、色や重さなどの違いを体感してもらうことで、木に適切な用途があることへの理解を深めていきます。2時限目は、地元の建具屋さんにて製作いただいたオリジナル・キットをもちいた「木の時間割」をつくります。組子の技法が使われた枠に、教料を書き込んだ6種類の樹種のチップをはめこんでいきます。このチップを毎年組み替えることで、長年愛着をもって使ってもらえるよう工夫をしています。



見学会・講演会等開催

年2回程度、見学会・講演会等を開催し、見識と交流を深めています。

- ①勉強会：色彩勉強会 講師 加藤美子氏(カリリスト) / 2017.09.12
- ②女子会：料理体験及び意見交換会(LIXILショールーム) / 2018.07.04
- ③講演会：「ボンエルフ最前線」講師 薬袋美奈子氏 / 2018.11.10
- ④見学会：愛山荘(福井県越前市・大正期の数寄屋風邸宅) / 2019.05.18
- ⑤見学会：永平寺門前・伯寿閣見学・精進料理堪能(福井県永平寺町) / 2018.10.22



えいじゅ通信

福井県建築士会が毎月発行する「かわらばん」に女性委員会からのお知らせ欄として掲載の「えいじゅ通信」は2020年7月号でvol.78となりました。住教育事業やブロック会議の報告、定例会議開催のお知らせ、見学会等の参加者募集など、福井県建築士会会員のみなさまに女性委員会を広く知っていただくための発信を続けています。



イベント参加 ～本会・青年部と協働 他～

建築情報フェスタでは「木のペンたてづくり」「おかしの家ストラップ」など建築素材を使用したワークショップを開催、その他ふくい住産主催イベントにて「木の体験コーナー」、福井県建築住宅課「行灯づくり」参加などのイベント参加を行っています。



次世代育成セミナー講師派遣

ふくい女性財団より依頼でジェンダーフリーをテーマに、県内中学校2校にて講師を務めました。建築士の仕事についてCADや模型を使って紹介し、女性も活躍できる職業であることを伝えることができました。



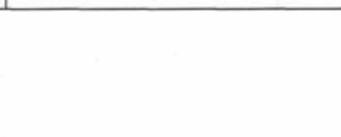
滋賀県建築士会 女性部会 会員数62名 平成2年設立

近年の活動報告

※Doシリーズとは…滋賀県建築士会女性部会が主催する会員・非会員・一般の方を対象に開催している講習会のことです。

近畿建築士会協議会女性部会合同見学会 Doシリーズ No.52 世界文化遺産 比叡山延暦寺の心に触れる 「八幡場の再生から始まった市民中心のまちづくり」 2009/10/24 近建女合同見学会を滋賀県近江八幡市で開催しました。京都4名、大阪17名、兵庫3名、奈良16名、和歌山6名、滋賀19名、総勢65名の参加となりました。午前「かわらミュージアム」内で八幡場の修景保全運動等に尽力された田中全一氏の講演会、昼食は八幡水郷めぐりを兼ねて舟上ですきやきを頂き、午後は、はちまんまちづくり「間」の会と歩く伝建地区・町家活用見学、NPO法人ヴォーリズ建築保存再生運動「一粒の会」と巡るヴォーリズ建築、の2コースに分かれて八幡の町を堪能して頂きました。		Doシリーズ No.52 世界文化遺産 比叡山延暦寺の心に触れる ～坐禅体験と「大書院」の特別拝観～ 2009/11/27～28 滋賀県が誇る世界文化遺産比叡山延暦寺。西塔にある研修道場「居士林」(こじりん)で1泊2日の仏道修行を経験し、延暦寺の小林氏の説明の下、本来は非公開の天皇迎賓館「大書院」の特別拝観、国宝根本中堂の見学をしました。大阪建築士会、一般の方も含む女性6名、男性7名の参加でした。修行は無音の世界、修行中の教本となる坐禅止観の教えを学び、坐禅体験、作務、食事作法など数重な気持ちで修行させて頂きました。	
 田中全一氏の講演会	 星形舟乗舟の様子と「すきやき」	 法話を持つ参加者・笑顔のあった時	 比叡山延暦寺大書院 旭光の間
 伝建地区・町家活用見学	 日本神社での集合写真	 大正5年たばこ主・村井吉兵衛氏がふたつとない良材を用いて建てた純日本様式の建築物を、昭和3年に重葺き維持の礎として使用するために東京から移築したのが「大書院」	 ベルギー製両面磨きガラス戸と観月台

Doシリーズで開催している講習会もあります♪

Doシリーズ No.51 デジカメによる建築写真の撮り方 実習 Part1 ～建築主にとってのいい建築写真とは～ 2009/1/20 被写体：住宅展示場GLホーム草津店 講師：築地 久(有限会社クアア代表取締役) 参加者：12名 内容：ここぞと思うアングルで納得の一枚を撮りPCに取り込んで評価。	Doシリーズ No.53 デジカメによる建築写真の撮り方 実習 Part2 ～今更聞けないデジカメの基礎～ 2010/3/30 被写体：旧水口図書館(ヴォーリズ建築) 講師：松居直和(映像クリエイター) 参加者：8名 内容：講義を受け、講師のお手本写真を模倣して撮影しプリントアウトして評価。	Doシリーズ No.55 デジカメによる建築写真の撮り方 実習 Part3 ～デジカメの機能を使ってみよう～ 2010/6/8 被写体：伝統構法の一般住宅 講師：松居直和(映像クリエイター) 参加者：8名 内容：講義を受け、伝統構法ならではの一枚を撮影しプリントアウトして評価。
デジカメ写真の撮り方ポイント ①第一印象を大切に。 ②カメラは水平・垂直に。(歪みをなくす) ③安定感。 ④黄金比。 ⑤三脚使用。(ベネッセ社のカメラがお奨め) ⑥光に向かって…。(広がりが出る) ⑦フラッシュはたかない。 ⑧今そこに人が居たかの様に動きを切り撮る。 ⑨何を見せたいか考えて思い切って切り撮る。 ⑩感性。	デジカメの機能 ①露出補正 ②ホワイトバランス ③ISO感度 ④画面に3分割線を表示	デジカメの機能 ①露出補正 ②ホワイトバランス ③ISO感度 ④画面に3分割線を表示
 講習の様子	 露出補正による印象の違い	 参加者の撮影写真の評価
 CDを用いたデータ管理	 プリント用紙と画像の違い	 被写体・伝統構法の家
 参加者の写真の評価	 施主さんも講義に参加	 参加者の写真の評価

滋賀県建築士会 女性委員会

会員数 70名 平成2年設立

Doシリーズ活動年表 Doシリーズとは、滋賀県建築士会女性委員会が主催する会員、非会員、一般の方を対象にした講習会です。

 20周年 瀬戸内海3島の見学会	6月 DoシリーズNo.58 「建築甲子園」優勝作品 実建築をめざして井戸端会議 8月 びわこペーロン 10月 20周年瀬戸内海3島の見学会 11月 DoシリーズNo.59 水中乾燥にみる家づくり 2月 DoシリーズNo.60 民家移築再生の魅力とプロセスを学ぶ	2011	
 Do No.62 伝統ある酒蔵を訪ねて	 Do No.63 高知県橋本(伊予はら)町	4月 DoシリーズNo.61 国宝姫路城大天守保存修繕見学会 7月 DoシリーズNo.62 総ケヤキ建築の魅力さをさぐる～伝統ある酒蔵を訪ねて～ 全員会議 3月 DoシリーズNo.63 「自然エネルギーによるまちづくり」見学会 ～環境モデル都市認定 高知県伊予はら町～ 8月 びわこペーロン	2012
8月 DoシリーズNo.64 沖島で沖島を語ろう ～淡水湖唯一無二の有人島のまちづくり～ 全員会議 びわこペーロン 2月 DoシリーズNo.65 コミュニケーションスキルを高めよう！ 三原三鈴氏	 Do No.64 沖島で沖島を語ろう	2013	
8月 びわこペーロン 11月 DoシリーズNo.66 現代建築を巡る～びわこ湖北寮～ 全員会議 3月 DoシリーズNo.67 現代建築を巡る～草津市「niwa」～	 Do No.66 びわこ湖北寮	2014	
 Do No.68 ラコリーナ近江八幡ワークショップ	8月 びわこペーロン 9月 DoシリーズNo.68 ラ コリーナ近江八幡 11月 DoシリーズNo.69 竹中大工道具館～素を知る～/大阪ガス「ハグミュージアム」 12月 全員会議 3月 DoシリーズNo.70 ～まちづくりから学ぶ～ 先進地高松丸亀町商店街の100年先を見据えた街づくり	2015	
6月 DoシリーズNo.71 左宮ワークショップ～土壁～ 8月 びわこペーロン 11月 DoシリーズNo.72 新しい木質構造用材料「CLT」を学ぶ DoシリーズNo.73 ～先進技術から学ぶ～ 地域産木材を使った大型木造建築物(サミット HR 構法) 1月 女性委員会主催 全員会議	 Do No.71 左宮ワークショップ	2016	
 Do No.74 中山道守山宿	8月 びわこペーロン 9月 DoシリーズNo.74 「滋賀の街道」中山道守山宿を巡って学ぶまちづくり 10月 DoシリーズNo.75 青岸時で香道を体験 1月 女性委員会主催 全員会議 3月 DoシリーズNo.76 ～素を知る～ 芸術の域にまで高められた匠の技から学ぶ	2017	
 Do No.79 座席組みに集中	8月 びわこペーロン 9月 DoシリーズNo.77 「滋賀を知る」～湖上から観る湖西高島の文化、景観～ 11月 DoシリーズNo.78 「誰もが最期まで村で暮らす」ための新たな集落づくり ～十津川村の取組みに学ぶ～ 12月 女性委員会主催 全員会議 2月 DoシリーズNo.79 「蘆花浅水荘ワークショップ」 ～ミニスツールの座面を編む～	2018	
9月 DoシリーズNo.80 国宝宝厳寺「唐門」及び重要文化財「観音堂」「舟廊下」保存修理工事見学会 10月 知事との対談 2月 DoシリーズNo.81 「公人屋敷」旧岡本邸と坂本の町並み見学会及び穴太衆積に学ぶ(中止) 3月 女性委員会主催 全員会 (中止)	 知事との対談	 Do No.80 国宝宝厳寺「唐門」等 保存修理工事見学会	2019

京都府建築士会 女性部会
 会員数 164名 1985年設立



平成23年
 全国女性建築士連絡協議会京都大会

1985年の女性部会発足以来、女性建築士の数は年々増加し、それぞれのフィールドで重要な役割を担っています。
 その中で、私たちの目指すものは

- 建築の中に女性ならではの視点・発想を生かし、社会に貢献できる礎地を作ること
- 女性建築士相互の親睦の場、知識と技術の研鑽の場となることです。

地域と共に

「住まいと生活のフェア '86」商店街への提案 S61
 「寺町アーケードコンペ」への審査協力 S63
 「高瀬川ウォーターフロント整備構想」への提案 H2
 「祇園祭 トイレボランティア」 H13~18
 オムロン地域協力基金「ヒューマン風車賞」受賞 H13



社団法人 京都府建築士会
 京都府建築士会
 女性部会

「見つめて京都」 H3~
 「女性部会新聞 わあく」発行 H3~4
 「女性部会通信」発行 H19~

家族と共に

「住まいの改善ネットワーク」設立 於：福知山市 H12~17
 「住宅無料相談室」 於：福知山市 H6~



H12 近畿建築士会協議会女性部会合同見学会in京都「西本願寺御影堂修復工事」
 H18 近畿建築士会協議会女性部会合同見学会in京都「貴船山万福寺」



環境と共に

「大原 公衆トイレ」基本計画 H13~
 「新しい宝ヶ池公園」設計 「四阿」改修 H9
 「環境ストーリー ~ぼくのふしぎな一日~」
 冊子発行 H17
 「環境ストーリー ~森のなりたち~」
 麻我小学校 出前授業 H19



歴史と共に

「京都歴史マラソン」 H3
 「歩いて探る京の歴史の道」 H6
 「国宝を訪ねて」「民家見学会」 H12
 「茶室見学会」 H13~



京都府建築士会 女性部会

会員数 143名 1985年設立

From the past decade, Go to the next.



24代部長 富山育子

2020

見学会

勉強会/セミナー等

京都産業大学サガタリウス館 7/12

京都市洛西竹林公園 5/18

京都市動物園 3/9

サントリーワールドリサーチセンター
 /国立国会図書館関西館 2/9

ランチミーティング (全5回)
 照明のトレンドセミナー 11/21
 学童保育の木造化セミナー 6/27

2019



23代部長 河合美由紀

2018

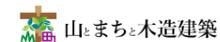
島津製作所創業記念館・廣誠院 5/19

高気密・高断熱住宅見学会 3/15

漆塗り体験 3/19-20

2017/12/8

第60回 建築士会全国大会 京都大会



2017

京都鉄道博物館・島原界限 9/2

神戸迎賓館・バラ園 5/20

きもの着方教室 (全4回)
 京からかみ勉強会&ワークショップ 8/27

全国大会京都大会
 エクスカーションコース勉強会 (全10回)

2016/12/3

第36回 近畿建築祭 京都大会

2016

町家の美術館 紫織庵 10/15

睦竹居 5/14

天ヶ瀬ダムトンネル工事 4/23

伏見のまちなみ 11/28

京丹後いろいろ木造建築の旅 7/11-12

竹中大工道具館 6/20

萬福寺 5/9

22代部長 瀬川静



2014/11/29

京都府建築士会女性部会 創設30周年

2015

建仁寺 5/10

松殿山荘 2/22

21代部長 堀尾智子

泉涌寺 11/6

京都大学近代建築 11/2

山陰ジオパーク 8/3

相国寺 5/18

姫路城大天守保存修理工事 12/13

60周年記念事業において
 夢の間取りづくり/クイズラリー
 ミニハウス組立体験等 3/10

瓦の勉強会 11/17
 光と風の勉強会 6/25
 小学校・高校 出前授業 (全4回)

2013/3/10

京都府建築士会 創立60周年記念事業

2013



西本願寺 5/12

20代部長 遠島節恵

妙心寺 11/26

山紫水明処 10/29

千本銘木商会 10/10

明倫学区 7/6

教王護国寺(東寺) 5/14

稲葉家本家・民家苑 3/5-6

千本釈迦堂・北野天満宮 12/10

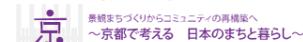
平成の京町家 設計ワークショップ 6/27

小学校・高校 出前授業 (全4回)

2012/2/17-18

全国女性建築士連絡協議会 京都大会

2012



大徳寺 瑞峯院 5/15

八坂神社・知恩院 5/1

19代部長 小澤えみ

2010



(社) 兵庫県建築士会 女性委員会
 会員数 130名 1983年設立

2003年、部会から委員会になったのを機に、3部会制で再スタート
 部会相互が関わり合い、協力し合っの活動をしています

女性部会

女性会員への情報提供とともに、
 会員の連帯と親睦を進め、女性建築士
 のさらなる地位向上をはかる

- 県内女性会員の交流促進
- 近畿や全国の女性建築士との交流促進



会員交流

普及啓発部会

建築士としての知識・経験を広く市民・
 地域に発信、建築士の存在や役割
 をアピールしていく

- 市民向けセミナーやワークショップの企画・運営
- パネル展示等で情報発信



市民・地域へ発信

兵庫県建築士会
 女性委員会

女性会員 建築士会 市民・地域

研究部会

女性の視点を大切にしながら、建築士
 としての研鑽・技術向上のための研究会
 を継続して開催（男性も参加）

- ユニバーサルデザイン研究会
- 家族と住まい方研究会
- 木構造木造住宅研究会
- よろず建築文化研究会
- 見学研究会 など



建築士の資質向上

兵庫県建築士会 女性委員会

会員数120名 1983年設立

女性部会

女性会員への情報提供とともに、
 会員の連帯と親睦を深め、
 女性建築士の更なる地位向
 上をはかります

- 県内女性会員の交流促進
- 近畿や全国の女性建築士との交流の促進



会員交流

普及啓発部会

建築士としての知識・経験を
 広く市民・地域に発信、建築
 士の存在や役割をアピールし
 ていきます

- 市民向けセミナーやワーク
 ショップの企画・運営
- パネル展示等で情報発信



市民・地域へ発信

兵庫県建築士会
 女性委員会

女性会員 建築士会 市民・地域

研究部会

女性の視点を大切にしながら、
 建築士としての研鑽・技術向上
 のための研究会を継続して開催
 します(男性も参加できます)

- ユニバーサルデザイン研究会
- 木構造木造住宅研究会
- よろず建築文化研究会
- 見学研究会
- 安全なくらしとエネルギーを
 考える会 など



建築士の資質向上

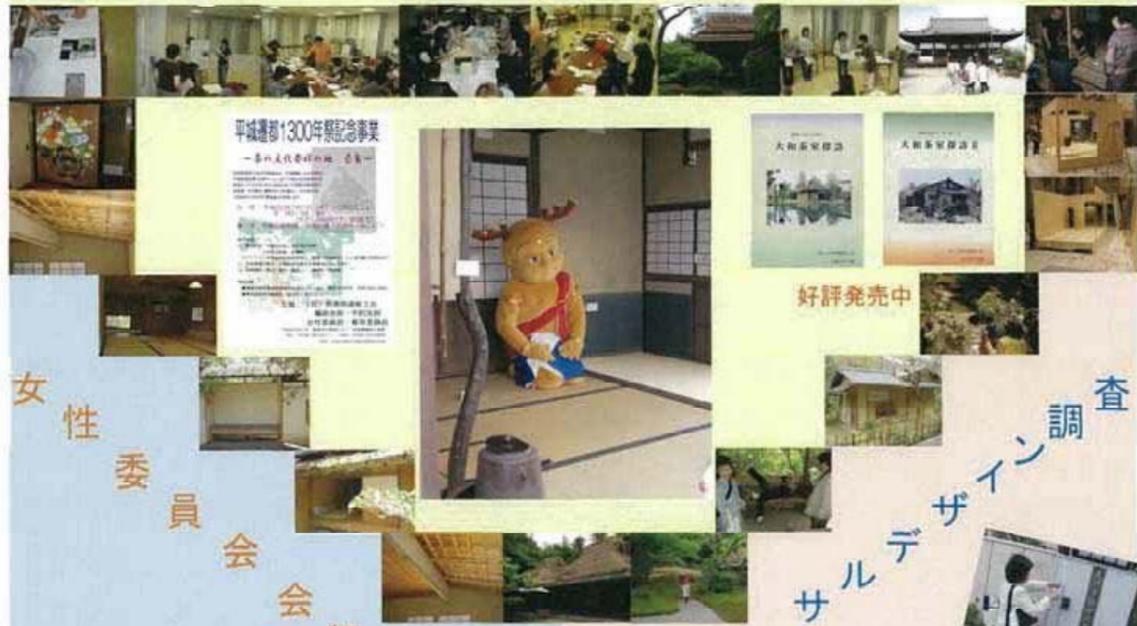
公益社団法人 兵庫県建築士会

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-6-11エクセル山手2階 tel: 078-327-0885 fax: 078-327-0887



奈良県建築士会 女性部会（委員会）
 会員数85名 1991年設立

平城遷都1300年祭記念事業に出展参加



女性委員会
 会報誌

1994年(社)奈良県建築士会 女性建築士への情報発信と活動報告を目的として、季刊誌「フープ女性委員会の輪」が創刊され、2010年夏号第63号まで女性会員全員に送付されています。

奈良県建築士会 女性委員会

会員数 77名 1991年設立

活動のあゆみ

- 1988 S63 女性サロン立上げ (女性委員会前身)
- 1989 H1
- 1990 H2
- 1991 H3 女性委員会設立
- 1992 H4
- 1993 H5
- 1994 H6
- 1995 H7
- 1996 H8
- 1997 H9
- 1998 H10 建築士会全国大会 奈良大会 分科会「詫び寂びルネッサンス」 1 2
- 1999 H11
- 2000 H12
- 2001 H13
- 2002 H14
- 2003 H15
- 2004 H16
- 2005 H17
- 2006 H18
- 2007 H19
- 2008 H20
- 2009 H21
- 2010 H22 平城遷都1300年祭記念事業 「茶の文化発祥の地・奈良」 3
- 2011 H23 女性委員会設立20周年イベント 「へっついさんで大和の食事をしよう」 4 5
- 2012 H24
- 2013 H25
- 2014 H26 「珠光茶会」 6
- 2015 H27
- 2016 H28 第26回 全国女性建築士連絡協議会 奈良大会 7 8
- 2017 H29
- 2018 H30
- 2019 R1
- 2020 R2



見学会 勉強会・講演会 会報誌「フープ」・出版物

見学会	勉強会・講演会	会報誌「フープ」・出版物
第2回女性サロン見学会 (奈良県女性センター) 第3回女性サロン見学会 (大阪 電化ハウス・食の博覧会)	第1回女性サロン研修会	
エネルギー研究所 奈良市写真美術館 特養・コミュニティ住宅 兵庫 神戸 奥吉野発電所・老人ホーム	建物調査ボランティア (阪神淡路大震災) 住宅に関する勉強会(第1回) ※全10回	「フープ」創刊号 大和茶室探訪 大和茶室探訪II
第1回海外研修 (インドネシア) 第2回海外研修 (ベトナム・カンボジア) A 第3回海外研修 (韓国)	第1回健康住宅講習会	「フープ」女性委員会10周年記念号 「ユニバーサルデザインの建物をめざしてその1 トイレ編」 「大和茶室探訪II」 「ユニバーサルデザインの建物をめざしてその2 外部空間編」
京都 宇治 兵庫 龍野・神戸 セキスイ納得工房 茶室訪問 (滋賀 彦根・大津)	文化財建造物の保存状況及び現状の価値等に関する調査 第2回健康住宅講習会	「フープ」50号記念号
UD部会 (河合町立第一小学校) 茶室部会 (待庵・燈心亭) 見学勉強部会 (京都洛北) 茶室部会 (不審竜・重森三玲旧宅)	講義会「伝統民家の仕組みに学ぶ 環境共生・資源循環の家づくり」 パース講習会 UD部会外部空間体験(東大寺) 茶室部会講演会「茶のこころ」 アイマスク体験会	「フープ」創刊10周年記念号 「ユニバーサルデザインの建物をめざしてその1 トイレ編」 「大和茶室探訪II」 「ユニバーサルデザインの建物をめざしてその2 外部空間編」
UD部会 (あすくの里) 茶室部会 (伸庵・黄梅庵)	竹山聖氏 講演会	
奈良 今井町 愛知 知多半島 UD部会 (奈良学園) 佐川美術館 東大寺総合文化センター 和歌山 田辺 大阪 光雲荘 兵庫 出石 研究部会 (松花堂庭園・美術館) 岐阜・愛知(如庵) B	ユニバーサルデザイン勉強会 (シックハウス) 勉強会「より良い環境を作る・低炭素化社会の実現」	「大和茶室探訪II-2」 大和茶室探訪II 大和茶室探訪II-2
滋賀 甲賀・琵琶湖湖畔 竹中大工道具館・日本民家集落博物館 京都 松殿山荘・角屋	UD部会講演会 「パーキングパーミッドについて」 UD部会講演会「ダイバーシティと女性の視点から見た韓国の都市計画」 UD部会講演会 趙玖妮氏「清溪川再生」	
三重 桑名 和室部会 (「温故知新」改修工事現場) 吉野杉・松の建物訪問 C	くらしとすまいを見つめるセミナー	「魅力ある和の空間ガイドブック」
和室部会 (滋賀 蘆花浅水荘・ラコリーナ・五個荘) D 近建女 (魅力ある和の空間 - 志賀直哉旧居)	奈良町茶室の楽しみ方講座 E	「フープ」100号記念号 H

和歌山県建築士会 女性委員会 会員数19名 1994年設立

～ただならぬ普通を発見！～

昨今の経済情勢や環境保護という思想・観点から、既存建物を有効に活用する手法であるリノベーション、リフォームが注目されています。その手法や観点を学び深めるべく、
京都大学大学院工学研究科准教授 神吉紀世子氏による講演『歴史的環境を住空間として再評価する』を開催し、まちなみ研究の活動を通して発見された文化的景観について聞くことができました。

一般に守っていくべき景観と言われるのは、歴史があり集合して残っているというイメージを持っていましたが、古い・新しいは関係がなく、個性的であることに面白さがあるといえます。
しかし、地元ではいたって普通の光景として存在するまちなみ。それを神吉先生は「ただならぬ普通」と表現されています。
そんな「ただならぬ普通」を私達も発見していこうと見学会への参加や女性委員会による開催を行いました。
今後は見学会に加え、勉強会や一般の方も交えたワークショップ等を開催していく予定です。



神吉 紀世子氏による講演会の様子

ただならぬ普通 その壱 ～和歌山県 湯浅町のまちなみ～

湯浅町は漁業と醤油醸造で全国的に知られ、醤油発祥の地として古くから栄えた町です。

その中でも北町、濱町、字中町、宇鑑治町周辺は湯浅伝統的建造物都保存地区として指定され、江戸時代に繁栄した醤油醸造元が現在でも数軒営業を続け、歴史的景観の面影を今に伝えています。

このまちなみ保存の為、空き屋となっていた伝統的な町屋を修理し、ギャラリーとして再利用するなど文化財としての保存とまちづくりへの活用を図っています。

(近畿建築祭和歌山大会 エキスカーション)



ただならぬ普通 その弐 ～和歌山県 伊都郡かつらぎ町 初桜酒造 母屋・囲い蔵・仕込蔵～



囲い蔵

「ほんまもんの地酒」を造ろうと、地元の伏流水と避寒地・天野の里の米を使い「手作りのお酒の良さ」を目指している『初桜酒造』さん。酒造業の起源は明和二年(1765)、昭和十五年から笠勝家が継承し現在に至っているそうです。母屋・囲い蔵・仕込蔵は2006年「国登録有形文化財」に指定された酒蔵です。



母屋

その母屋で、古酒から始まり色々なお酒の試飲をさせて頂き、最後に干し柿のお茶うけで美味しいお茶を御馳走になりました。今も86歳になるお母様が住まわれていて、大切にされている様子が伺え心温まる気持ちです。建築に携わるものとしては、消耗品のような建物が多く造られる現在において、住み継がれていく家のあり方をもう一度考えていかなければと思える一日でした。

和歌山県建築士会 女性委員会

会員数26名 1993年設立



【活動方針】

和歌山県建築士会女性委員会は、1993年11月に7名からスタートしました。県内の女性建築士が少ない中、継続的に見学会や講演会を開催し、建築士としての知識や技能の維持向上に努めるとともに、女性建築士が集える場所を作ってきました。その努力の結果、現在の委員は26名となっています。

しかし、県土が広く、居住地が分散化していることや女性特有の子育てや介護等の理由により、現在でも活動に参加できる委員は多くはありません。そこで、今回のコロナ禍により、集まらなくてもできる活動に目を向けるようになりました。これまでの委員会活動ではできなかった新しい交流の方法を皆で見つけていきたいと考えています。

紀州木の国と呼ばれる和歌山県に於いても、現在の子どもたちは自然に触れ合う機会が少なくなっています。ここ数年、私たちは和歌山県の山のこと、紀州材のこと、木の成長から建築物に活用されるまでの流れを、紙芝居を使って子どもたちに読み聞かせてきました。

また、青年委員会の事業への協力として、お菓子をを使った家づくり「おかしな家づくり」にもこの10年間継続的に参加しています。子どもと近い距離で生活している私たちが、建築士として子どもたちと関わることで、将来、建築士を目指す子どもが増えるきっかけになるように努めていきたいと思えます。

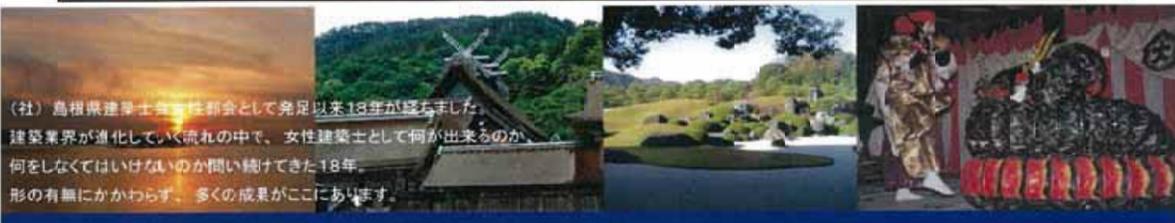
- 2010年: 見学会開催「漁師町を歩く～海南市下津町塩津」
- 2010年: 全和歌山県建築士連合協議会参加 東京部 E分科会 景観まちづくり 担当
- 2010年: 見学会開催「和歌山市加太周辺と友ヶ島」
- 2011年: 見学会開催「つつしが丘ニコスト」
- 2011年: 女性委員会発足20周年記念講演会開催 講師：ベニシア・スタンリー・スミス氏
- 2011年: おかしな家づくり
- 2012年: セミナー開催「木材乾燥の違い・木工法等について木の家づくりのスペシャリストに聞く」
- 2012年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2013年: 第35回近畿建築祭 和歌山大会 エキスカーション3 運筆定院コース 担当
- 2013年: 木の国わかやま 木育キャラバン in 和歌山市
- 2014年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2014年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2015年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2015年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2016年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2016年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2017年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2017年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2018年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2018年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2019年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2019年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」

活動の流れ 2010 ～ 2019年

- 2010年: 見学会開催「和歌山市加太周辺と友ヶ島」
- 2011年: 見学会開催「つつしが丘ニコスト」
- 2012年: セミナー開催「木材乾燥の違い・木工法等について木の家づくりのスペシャリストに聞く」
- 2012年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2013年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2014年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2015年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2016年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2017年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2018年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」
- 2019年: 親子木工体験教室「木の時間劇作り」

(社) 島根県建築士会 女性委員会

会員数70名 1992年設立



(社) 島根県建築士会女性委員会として発足以来18年が経ちました。建築業界が進化して、流れの中で、女性建築士として何ができるのか、何をしなければいけないのか問い続けてきた18年。形の有無にかかわらず、多くの成果がここにあります。

ORA-ORA

ORAORA

1992年より形を変えるから、女性建築士の活動を紹介。女性ならではの手作り感と温かさを大切にしています

▲男女共同参画社会づくりの拠点建設員総合女性センター「あすてらす」。県からの依頼により基本計画ワーキンググループに参加

▲ワークショップを開催。松江市内の看板、電線、道路の状況。安全で快適な街並み、理髪について意見を交わしました

▲テーマは「アロマと建築のいい関係」。新たな知識習得と癒し効果でリッチな勉強会となりました

島根県「長寿社会の住みづくり」に協賛協力

▼古民家勉強会の会場となった築250年の古民家。木の匂い、時間や遊び方を学びました

1992 女性委員会発足

1・・・「女性部会だより」発刊

2・・・「福喜女性センター」基本計画ワーキンググループ発足

3・・・長寿社会における住宅の設計策定

4・・・「アロマフリー」住宅相談室

5・・・「女性部会だより」の名称を「ORA-ORA」に決定

6・・・女性建築士アンケート

7・・・島根県全国大会準備へ大会参加

8・・・ワークショップ開催

9・・・中国ブロック大会 島根開催

10・・・住まいづくり講座開催

11・・・各種勉強会開催

12・・・アロマの勉強会

13・・・嵐の勉強会

14・・・松江城天守と神護寺本殿についての講演会

15・・・石見郡山・電化研修 (中国電力共催)

16・・・各種勉強会開催

17・・・建築の勉強会

18・・・広告物についての勉強会

19・・・若玉作り

20・・・古民家勉強会

21・・・アトリエ大空入講義会

22・・・中国ブロック大会 島根開催

2010

島根県建築士会 女性委員会

会員数115名 1992年設立



岡山県建築士会 女性部会（委員会）
会員数153名 1995年設立

1995 女性部会設立

- 富田玲子氏による設立記念講演がおこなわれました
- 女性部会情報誌「フフ」創刊（現在vol.38）



1997～2001

- 「夏休み子ども絵マップコンクール 第1回～第5回」



2007 青年・女性建築士の集い 四国ブロック岡山大会開催

- 女性部 第4分科会「くらしき“天領のあかり今昔”～未来に継ぐ伝建地区の町づくりを考える～」



2005～ 「建築士と市民を結ぶプロジェクト」始動～あなたの隣の建築士～

- 2005 ● 岡山県消費生活者センター 建築相談員として参加
- 2006 ● リフォームに関するアンケート実施
- 2007 ● 「快適な住まいを考えるリフォームセミナー」実施 全4回
- 2008 ● 「リフォームセミナーの内容をまとめた「リフォームの手引き」冊子配布
- 「熟年世代の住まいと暮らし」に関するアンケート実施
- 2009 ● 「今から考える熟年の住まい」セミナー実施 全4回
- 2010 ● 「若い世代の暮らしと住まいのアンケート」実施

1997 全国女性建築士連絡協議会岡山大会開催

大会テーマ：「安全に健やかに住み続けられる居住環境～健康住宅と女性建築士～」



2004 女性部会設立10周年

- 10周年記念事業 公開シンポジウム開催
テーマ：「健康で快適な住環境を求めて～女性建築士が果たす役割とは～」



2005年から始まった、「建築士と市民を結ぶプロジェクト」
社会のニーズと課題を掘り下げて、私たち女性部会の取り組みはこれからも続いていきます。
岡山県建築士会 女性部会 H.P. fufuweb http://www.geocities.jp/fufu_web/

岡山県建築士会 女性部会

会員数88名 1995年設立

継 続 事 業	年 表	
情 報 誌 「フフ」 季 刊 発 行	1995 ・岡山県建築士会女性部会設立 ・設立記念講演会（富田玲子氏） ・女性部会情報誌「フフ」創刊	
	1997 ・全国女性建築士連絡協議会岡山大会開催	
	1997～2001 ・夏休み子ども絵マップコンクール（第1回～第5回）	
	2004 ・岡山県建築士会女性部会設立10周年記念事業公開シンポジウム	
	2005 ・岡山県消費生活者センター（相談員）	
	2006 ・リフォームアンケート実施 ・一般向け「リフォームセミナー」実施 「快適な住まいを考える」（全4回） ・一般向け「自然素材の健康体験」	
	2007 ・青年・女性建築士の集い 四国ブロック岡山大会開催 第4分科会担当 「くらしき天領のあかり今昔」 ・岡山県知事との座談会	
	2008 ・建築士全国大会総会大会「誰」最後受賞受賞 ・冊子「リフォームの手引き」作成配布 ・熟年世代の住まいに関するアンケート実施 ・一般向け「熟年の住まい」講座「今から考える熟年の住まい」（全4回） ・公民館出前講座「住まいのリフォーム」 ・全国女性建築士連絡協議会長野大会 分科会発表「熟年セミナーを終えて」	
	2010 ・女性部会15周年記念講演会「若い世代の暮らしと住まいに関するアンケート」実施 ★10年継続中古住宅アンケート開始 ・一般向け「中高年のためのリフォームセミナー」開催	
	2012 ・一般向け 防災イベント参加	
会 員 向 け 勉 強 会	2013 ・公民館出前講座「安全な住まい」 ・一般向け 防災イベント参加	
	2014 ★一般向けリーフレット「女性建築士 eye's」創刊号発行 ワークショップイベントに出席「みんなであそぶ」	
	2015 ・女性部会20周年記念講演会（銀田圭介氏） ・出前講座岡山理科大学専門学校「女性建築士の現場」 ・岡山教育支援活動メニューフェアに出展	
	2016 ★お茶室勉強会「和の壺」開始 ・公民館出前講座 ・青年・女性建築士の集い 四国ブロック岡山大会開催「伝統の継承」 ・全国女性建築士連絡協議会奈良大会 分科会発表「アンケートとリーフレットから伝えたいこと」	
	2019 ★一般向けリフォーム冊子作成「リフォームの手引き2019」 ・全国女性建築士連絡協議会東京大会 分科会発表「被災地報告 真備町」 ・女性部会20周年記念見学会「贈答技術継承者 高野純美次氏と語る贈答」 ・10年継続中古住宅アンケート完了	
	見 学 会	
見 学 旅 行		

近年のめあめ

お

10年継続アンケート

「中古住宅に関する意識調査」
空き家や中古住宅の増加が問題になっている様子、一般の方々にアンケートを行い調査して、その意識と有効な活用をさぐりたい！

- 性別・年齢
- 住まいの地域
- 現在の住まい
- 大切にしたいもの
- 中古住宅の価値
- 中古住宅購入のポイント
- 中古住宅リフォームの有無



2019年度をもって完了しました。
10年を経過して感じること。
・意識は増加傾向
・リアフリー、耐震は減少傾向

お茶室勉強会

～和の壺～

茶室が和の文化なら、その文化をまるごと感じてみよう！

県内各地の茶室を訪ねてその歴史やしつらえを勉強するとともに、和服を着て、客として待合、辯茶（つくばい・手水鉢）、瀾り口（にじりぐち）から茶室へ。床の間・お道具拝見、お手前拝見、菓子・抹茶をいただく、お道具拝見、あいさつなど体験しています。



勉強会を継続して和の文化に魅せられ、着物の着付けを習う者、茶の作法に興味を持つ者、茶室のしつらえを勉強する者、と女性部会のメンバーは伝統文化を生活に取り入れています。
この勉強会を始めて4年になります。（計6回）豊かな文化の感性を享受して、旅行のあるあそびぐりへと繋げていくことができれば幸いです。

か

リーフレット

岡山のぼっけえ女性建築士 eye's

高齢リフォームや欠陥住宅などの問題が目に見え、一般消費者への正しい建築情報提供をリーフレットにして提供したい！



少子化や空き家の増加が問題になっているが、高齢への住環境は若い世代にも高い。家は「建てること」から始まり「住み続ける・住み継ぐこと」の大切な多くの方々に知ってほしい！

リフォーム冊子 2019

初版「リフォームの手引き」を発行して10年が経過しました。
建築・設備は変化し、高齢化や空き家問題は深刻になり、冊子を現状に合わせて新たにすることにしました。



いつまでも我が家で暮らせる事を切に願って2019年版「リフォームの手引き」を作成しました。更に「リフォームの手引き」を使い一般の方を対象にしたセミナーを開く計画があります。この冊子を活用し今後も一般の方との連携を深め、更に大きな広がりを持って地域貢献に努めたいと考えています。



広島県建築士会 女性部会
会員数 131名 1989年設立

広島からヒロシマ、そしてひろしまへ
歩いて さがそう 未来のひろしま

はじめに

昨年平成21年、広島市より「広島平和記念都市建設法制定60周年記念事業」のひとつとして子どもを対象とした事業の企画・運営の依頼がありました。そこで私たちは「広島平和記念都市建設法」の成り立ちやそれに基づいてつくられた街を学ぶと同時に、将来を担う子供たちに自分達の街に少しでも興味を持ってもらいたいと考え、ひろしまの街をぐるウォークラリー(以下WR)を行うこととしました。

主催：広島市(社)広島県建築士会
会場：広島市まちづくり市民交流プラザ
平和記念公園から平和大通り・並木通り周辺
日時：平成21年8月23日(日)12:30~17:30
参加者：小学生37名・中学生1名
10グループ

第一部
学ぶ

《広島の街の過去を学ぶ》12:30~

昭和24年に施行された「広島平和記念都市建設法」を映像と会話形式のナレーションで解り易く説明し、大正時代から戦前までの「広島」、原爆の被害を受けた昭和21年の「ヒロシマ」とその復興を映像で紹介しました。

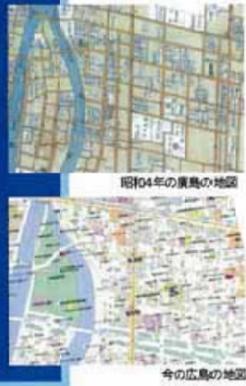


第二部
歩く

《広島の今を体感する》12:55~

WRでさがす10のポイント今の広島に残る「広島・ヒロシマ」をクエスト形式で出題。

昭和4年の「広島」と今の「広島」の地図を見比べながら、子どもたち自身でクエストポイントを選び、80分以内で選ばれるルートを検討し、決まったチームから出発。



第三部
考える

《広島の未来を考える》15:20~17:30

実際に選んだルートをもう一度地図に書き込み、写真や色紙を使ってパスルを作成。最後に、今も変わりつつある広島を映像で紹介し、『君達こそが広島の未来をつくる主役』とメッセージを送ってWRを終了しました。



成果

WR後のアンケートでは「楽しかった!」という感想が多く見られるなか、「学校で習わないことが学べてよかった」「もっと広島について知りたい」「未来のこともなんとなくわかったような気がした」「ぼくたちが未来を考えないといけないと思った」という意見があり、私たちが伝えたかったことをしっかりと受け止めてくれました。またイベント後に、学んだことを家族で話したり、家族と一緒に改めてまちの探検をした子どももいました。広島のみちについて考えてくれるきっかけを作ることができたようです。



広島県建築士会 女性委員会

会員数143名 1989年設立



DIG 建物耐震 防災グッズ 非常食
様々な防災のこと
防災とひとことで言っても、その内容は多岐にわたる。県内各地でのイベント参加や講習会の開催で起こるかもしれない災害を知り、自分や大切な人を守るために必要なことをみんなで考える。地域の人とともに考える。



啓発 enlightenment enlightenment



地震 earthquake earthquake

平成23年3月 東日本大震災 被災地を訪れる
平成24年及び27年、石巻市を訪ねし被災された方々の話を聴く。地震と津波の恐怖、被害の大きさ、避難生活の実情。人々の思いは、未来にどこまで届く。災害の被害を最小限にするための記憶を忘れず伝えたいということ。災害を伝え次につなぐことの大切さ。



豪雨 heavy rainfall heavy rainfall

平成26年8月豪雨 平成30年7月豪雨 繰り返す土砂災害
むらい真砂土の土壌、山がちな地形の広島県では昔から豪雨による土砂災害が多い。しかし、自分が住む場所が危険か否かを認識している人がどれだけのか。現地調査や避難相談ボランティアを通じて考えられる。命を守るために知らなくてはいけないこと。



天災だけじゃない 建物人が守るための秘密あれこれ
いつ起こるか分からないのは建物火災も同じ。いざという時、どう逃げればいいのかを考えると、学校で、公共施設で、建物に備わる防災設備を探しに行こう。見つけて学ぶための防災探検隊。

探検 explore explore



山口県建築士会 女性委員会
会員数 178名 1992年設立



女性建築士による

すまいづくり塾

House
Planning
Seminar
2010.01.24/31

昨今の情報化社会のなかで一般消費者の皆さんは、「家」に関して様々な知識をもっています。「家」という商品についての知識ではなく、「住まいをつくる」ための情報を一般の方に提供していきたいと考えました。

「住まいをつくる」その過程で欠かせない私たち建築士が講師となり、2日間にわたって「すまいづくり」セミナーを開催しました。

1日目 すまいづくりのごと教えます！



？どこに頼めばいいの？

ハウスメーカー、工務店、設計事務所、いろいろあるけど、すまいづくりをどこに頼んだらいいの？
メリット、デメリットを含めてそれぞれの違いを解説

？どうやって出来るの？

1) 設計から工事監理の流れ
2) 実際の家づくり(工事)の流れ
家づくりの基礎知識～地盤、構造、断熱～などの話を
繰り込みながら・・・

？どんな材料があるの？

実物サンプルを使いながら、内装材の種類、特徴を解説。
シックハウスとは？
最後にわたしたち建築士による建築事例の紹介



2日目 理想のすまいのプランをつくってみよう！

どんな家に住みたいですか？どんな暮らしをしたいですか？単に間取りを考えるだけでなく、ライフスタイル、ライフステージを考慮しながら理想のすまいをイメージして下さい。そのイメージをもとに実際にプランをつくってみよう！



家族の気配が感じられる家がいい、ガレージのある家がいい、デッキがあるといい、子供部屋は将来どう使う？etc.
女性建築士のアドバイスのもと、平面パーツを試行錯誤しながら組み合わせてプランをつくります。
家具、植栽、人物パーツなども貼り付け、完成です。

完成プランの発表会。個性溢れる作品がたくさん出来ました！



新婚家庭の希望盛りだくさんのプラン

家事動線重視プラン

中庭のある伸びやかなプラン

参加者からは、具体的な回答をその場で聞けるのでとてもわかりやすかった、話し合いをしながらつくっていくのがとても楽しかった、家に対する具体的なイメージがわいてきた、はやく自分の家が建てたくなった、などの感想が寄せられました。参加者の皆さんに「すまいづくり」の楽しさを伝えることが出来たと思いますし、わたしたち「建築士」の存在を身近に感じてもらえたと思います。今後は、このセミナーを発展させながら継続していきたいと考えています。

山口県建築士会 女性部

会員数128名 1992年設立

2010年～2019年の活動内容紹介

2013年度研修会：鳥取県建築士会の方々に講師に来ていただきDIGの勉強会



2016年度研修会：菊竹清訓設計の火の山展望台の実測、模型作成（一年後に解体され現存しない）



2017年度研修会：藩校萩明倫学舎の歴史、改修についての講演会・見学、お正月リース作り



2018年度研修会：錦帯橋の歴史、構造についての講演会・見学、屋形船で鵜飼見物



2019年度交流会：大寧寺で坐禅体験・精進料理作法



毎月かわら版を発行
2016年に200号達成

徳島県建築士会 女性部会
会員数90名 1983年設立

建物見学会

徳島県建築士会女性部会では、建築知識の学習と会員相互の交流を目的に、「建物見学会」を行っています。
平成21年度は、9月26日、京都へ。世界遺産の「二条城」や、今回のメインである「葭屋町の町屋」などを見学しました。新しく建て直した方が容易で費用もかからないのに、あえて古い建物を再生する意義。先人の想いと技を伝えようとしている姿勢に感激しました。



地域でのイベント

平成21年度、徳島県建築士会女性部会では、地域貢献と建築士会活性化を目的に、「LED de ものづくり」と「お菓子の家づくり」という地域の子もたちが参加できる、ものづくりイベントを行いました。



この2つのイベントは平成22年度も行います。



目的

徳島市内商店街の空き店舗を利用し、LEDのものづくりイベントを行いました。このイベントは、徳島県が掲げている『LEDパレイ構想』における「LEDの県民への普及促進」や、イベントを通じた市街地活性化も視野に入れ、建築士と市民の触れ合いの場づくりとして企画しました。

成果

参加者は44人で、最年少の3歳から60歳代までの幅広い年代の方に、思い思いの作品づくりを楽しんでもらうことができました。



目的

徳島県女性部会では、これまで、徳島県内の学童保育の調査を行い、保育所の建築に携わったりして、子ども達の住空間に対する問題点の指摘と改善を進めてきました。これからは、子ども達が、住まいについて興味を持ち、楽しく学べるような場を提供したいと考え、「お菓子の家づくり」を企画しました。

成果

小学生22人と飛び入りの大学生2人に参加していただき、家づくり、ものづくりの楽しさを体験してもらうことができました。



徳島県建築士会 女性委員会

会員数110名 1983年設立

新年交流会

在籍会員が参加しやすい環境整備として、出産・育児や介護・看護中の方の士会活動への両立支援、一旦活動を休止した方のカムバック支援、更にいままで参加したことのない方へのきっかけ支援となるよう「建築セミナー+意見交換交流会」を新年毎に開催することとしました。講師や会場、見学地のセレクトに建築士目線でのこだわりを持つことで企画側も大いに楽しんでます。



勉強会

年間3回程度、勉強会を実施しています。住まい方アドバイザー近藤典子さんをお迎えした勉強会では、居心地のいい住空間を実現するための知識・考え方を教わりました。会員・一般の方合わせて180名が参加し、“住まう”ことをそれぞれの立場から考える時間となりました。

(右/徳島県神山町大慈地住宅見学会、左下/徳島の魅力ある和の空間「勉強会」、右下/近藤典子氏「片付け家の作り方」講演会。



建築見学会

年に1回、日帰りで行ける建築見学会を開催しています。1人では足を運びにくい土地だったり、団体でないで予約が取りづらかったりする建築を優先的に選んで企画するようになっています。(左下/徳島県三好市西園のへそ再考、右下/広島県尾道市リボンチャペル。



徳島県建築士会 男女参画委員会とは?

平成27年度をもって女性委員会を一旦解散し、男女の枠にとらわれない新しい形での女性建築士への支援活動を行うことを目的に平成30年度「男女参画委員会」を立ち上げました。名称のとおり男性会員も参加しています。建築士としての自己研鑽は勿論ですが「楽しい」「参加したくなる」を主眼とした建築士支援活動を展開しています。

全国女性建築士連絡協議会活動報告

平成31年度、令和元年度と2年連続して分科会での発表をさせて頂きました。全建女で得た情報を地元会員へフィードバックするため、報告会も実施しています。



コラボ企画

県内の他団体・他協会とのコラボレーション企画も実施しています。お互いに情報交換や連携を図ることで、より幅広い活動が展開できることを目的としています。(テーブルコーディネートレッスン。)



女性建築士継続事業

LED光のイルミネーション

12月～3月にかけて、公園や保育園・幼稚園に、園児が描いたイラストを入れて作ったLED照明を飾っています。



お菓子の家づくり

建築とは何か?、建築と災害との関係性についてなど、お菓子の家を作りながら楽しく建築を学んでもらいます。



香川県建築士会 女性委員会
会員数110名 1990年設立

平成21年度は青年・女性建築士の集い中四国ブロック香川大会の年であった。
香川県のまちの表情は、戦後の著名建築家、丹下健三・大江宏・戸原義信・大高正人などの近代建築と、ジョージ・ナカシマ・斜持勇らの家具、イサム・ノグチ・流政之などの彫刻作品等が調和してつくっている。香川県には、日本のモダニズム建築・DCCOMO100選の香川県庁舎（現・香川県庁舎東館）・百十四銀行本店・坂出人工土地の3つがある。経済効率、耐震性などの理由により取り壊しの危機を迎えているモダニズム建築が数多くある中、これらの建築物は香川という地域の中で、地域それらの建築物等を中心とした「香川県の建築マップ」を作り、中四国ブロックの青年・女性建築士と、一般参加の県民と共に知って・感じて・考える大会となった。
この大会により生まれた女性委員会の会員相互の、また青年委員会との連携の広がり、重層的な和となって日常の業務の中にも生かされていくことと思う。



○一般市民・県民に建築士を知ってもらう
香川県の「09香川まちめぐり・てくてくさみぎ」に協力し、「香川県庁舎旧本館と周辺の近代建築」を県民と共に歩き、近代建築と一緒に知って・感じて・考えた。建築士というものを一般県民に広く知ってもらう機会になった。



・地域材の利用促進と森林整備の推進を図るため、香川流域森林・林業活性化センター及び徳島県吉野川（三好）流域林業活性化センターに協力して、一般市民向けに木造住宅の無料相談会を実施している。この住宅相談会から、地域材を使った住宅



○建築士として地域を知る
身近な自然素材を建築素材として活かし、高温多湿な気候・風土にも適応している「奥祖谷の集落と民家」「土佐・奈半利と吉良川の古民家の街並み」などを探訪・見学し、現代を生きる我々にとっての心地よい住まいのあり方を模索している。他県の建築士会の方々との交流もあった。



○建築士としての学習会
地域材の利用（森林整備・間伐材の利用）促進のための木造住宅の学習会を行った。快適な木の住まい・自然素材の家づくりの設計をされている三澤文子氏と三澤康彦氏を迎えて「木構造をふまえた住宅のプラン・デザインのあり方」の学習会を

○今後の課題
発足当初、30数名で産声を上げた会も4倍弱の人数に増え、その間、常任理事会、全国女性建築士連絡協議会への参加と活動の場は広がったものの、委員会事業へ参加する顔ぶれはよく似ており、育児、家事、介護、仕事と忙しい中、如何にこの人数を増やしていくかが課題である。
又、全会員数の6%しか女性メンバーはおらず、会員数の増強も今後の課題である。
今年、20年を迎え続けてきた女性委員会である。今後も魅力ある内容で更なる活動の場を広げて行きたいと思う。

香川県建築士会 女性委員会 (R2/3/末 会員数155名) 1990年設立

あーきてくちや会 アーキテクチャ + 茶話会

2016年(平成28年度)より、会員活性化・会員拡大を目的とし、士会活動が活発でない会員や活動を紹介したい会員外の方がお一人で参加いただいてもその参加場面で交流しやすい事を心がけ、茶話会となる時間を含めた事業「あーきてくちや会」を開始。参加きっかけとなる基軸事業と位置づけた。



研鑽しつつ

交流しつつ

香川の建築女子

アーキテクチャ



茶話会

■あーきてくちや会

- [2016]
- 第1回『数寄屋建築で学ぶおもてなしのお花 渡邊邸』五室の茶室と「鮎魚庵」名席六室をもつ渡邊邸で見学といけ花体験、ランチ会を実施。(渡邊邸魅力ある和の空間WEB掲載)
- 第2回『庭のある暮らし』イングリッシュガーデンの学習会とアフタヌーンティを体験し暮らしの提案を学ぶ。
- [2017]
- 第3回『オリジナル形漆豆皿製作体験 讃岐漆芸美術館』讃岐漆芸の三技法のひとつ『彫漆』を学ぶ目的で企画し、製作したオリジナル豆皿は体験後の茶話会で、お菓子皿として使用した。
- 第4回『栗林公園散策とお茶室体験』香川を代表する観光名所をガバさんの案内で用意した資料を元に散策し、日暮亭で茶席体験を実施。
- [2018]
- 第5回『古き良き木造建築と茶庭を巡る歩く扇町』戦火を逃れ時代を経て新しく美しい高松市では貴重な町屋建築と茶庭を見学。大切に守り続ける方々の想いも素晴らしい。
- 第6回『たどつまち歩き 合田邸』多度津藩城下町として始まった歴史深い多度津町でまち歩きと「多度津七福神」と言われた家商の合田邸を見学。(合田邸魅力ある和の空間WEB掲載)
- [2019]
- 第7回『和の伝統技術 左官体験』左官職人さんをお呼びして、伝統技法から新しい工法や材料や塗り方などを教えていただき、左官体験を実施。
- 第8回『建築セミナー & 食事交流会』県内外で活躍の商環境デザイナー 香川真二氏をお招きしセミナーと施工店舗での食事交流会を企画。

■その他 2016-2019

2018青年・女性 中四国ブロック大会が香川幹事県である為、そこへ照準を合わせ事業内容、スケジュール、情報発信、スタッフを募る作業等々を実施し、あーきてくちや会もその一つとして開始。
2016 定例会(隔月開催)
" 委員会より女性会員へメールでの情報発信を開始
" 女性・西讃青年合同 建築見学バスツアー 神戸淡路 伊勢神宮・日本真珠会館他
2017 建築セミナー・食事交流会 建築家 長田慶太氏
2018 青年・女性 中四国ブロック香川大会 大会テーマ「分岐点」幹事県開催
" 建築見学 津山「歴史的建築物の活用による地方創生シンポジウム」、奈義町現代美術館
2019 女性・西讃青年合同 建築見学バスツアー 大阪 太陽の塔・堺筋 小西家住宅



香川県委員会のあゆみ 2020年30周年

1990	女性委員会設立
1990-2001	中島照子 女性委員長 (1991 中四国ブロック香川大会) (2000 中四国ブロック香川大会) (2003-2004 中四国ブロック香川大会)
2002-2005	川口洋子 " (2005 全国女性建築士連絡協議会 香川大会)
2006-2009	杉本三枝 " (2009 中四国ブロック香川大会)
2010-2011	佐藤輝美 " (2010 中四国ブロック香川大会)
2012-2015	池田幸代 " (2012 中四国ブロック香川大会)
2016-2019	村上良枝 " (2018 中四国ブロック香川大会) (2019-2020 中四国ブロック香川大会)
2020-	都留智恵 " (委員 藤本たみ・横田夏美・千野万理子・濱田奈緒・安藤真由美・都留智恵・十河智恵・橋本和子・藤田晶子・前井千代・堀江聖子・吉田あかり・谷野文香・安部知寿美・秋山直香)

(社) 愛媛県建築士会 女性委員会

現在、4つの継続的な勉強会等を中心に委員会活動を展開しています。
 今後の課題は私たちの活動を社会貢献につなげること。
 昨年はブログ (<http://hime21.exblog.jp/>) を立ち上げました。

照明勉強会

- 第1回 H16.11 住まいの照明【ひかりと健康】
- 第2回 H17.11 LED発光ダイオードの住宅照明への応用
- 第3回 H18.11 間接照明の使い方
- 第4回 H19.11 エネルギーと明るさの関係 (祝岩山・常徳寺)
- 第5回 H20.7 LED照明
- 第6回 H21.8 LED照明 (その2)
- 第7回 H22.8 予定



担当者コメント：
 照明勉強会も早いもので今年第7回を迎えます。
 最初は女性委員会のメンバーだけでスタートしましたが、
 青年部をはじめの会員はもとより、一般の方にも開放して
 オープン参加にしています。

いつもながら照明計画の重要性を感じながらも、
 最近は照明業界もCO2削減という環境問題の取り組みから、
 LEDの普及が進んで来ています。
 LEDの技術は急速に進歩しつつありますので、
 常に情報から目が離せないところです。
 このような勉強会を継続していくことで、委員の皆様
 の今後の仕事に役立てて頂けたらと思います。



造園勉強会

- 第1回 H19.1 「緑の空間について」
- 第2回 H19.10 「樹木とのふれあい」
- 第3回 H20.5 「住宅の緑と園芸」
- 第4回 H21.6 「夏の剪定の基礎知識、松の剪定実習」
- 第5回 H22.12 予定「門松づくり」



担当者コメント：
 近年建物と緑の関係が変わり始めています。
 これからも、技術・数値の向上を図るため、
 一般の方とともに勉強会を開催して、自己研鑽します。

建物と緑の関係は
 1. 癒し効果・・・生活者のストレスをやわらげる。
 2. 保護効果で耐久性・・・建物を紫外線から防ぎ、その保護効果により、耐久性が向上する
 3. ヒートアイランド・・・緑化した壁の上から水分が蒸発することで冷却効果をもたらす。

異業種勉強会

- 第1回 H17.6 総務部長(春秋寮) 工藤省治
- 第2回 H17.7 タレント 車 だん吉
- 第3回 H17.12 洋画家 折笠伸之
- 第4回 H20.9 フリーアナウンサー 坂本由典
- 第5回 H22.1 女性ソムリエ 二瓶由佳



担当者コメント：
 今まで、建築士だから・・・建築の勉強会、講演会などを自然のように学んできました。
 しかし、それだけでいいのだろうか？ 他の分野はどうなんだろう？ という思いから
 「異業種に学ぶ！」が始まりました。
 目的は、種々の職種の建物を手掛ける者として、
 1. 異業種の方々の話の中から、その生活空間を読み取る。
 2. 異業種の方々はどのようにして自分の技術を高めているかを知ること。
 3. 他人との接し方を皆で学習することです。
 この勉強会によって、各々が何かを感じ、学び、今後の建築の仕事に無駄なく活かされることと
 思います。



県内見学会

- 第1回 H18 今治見学会 (今治城、大正鳥とこころミュージアム)
- 第2回 H19 宇和島見学会 (国安の邸、宇和島市立病院新築披露)
- 第3回 H20 西予見学会 (和み館、末光邸)
- 第4回 H21 新居浜見学会 (広瀬記念公園、理應寺)

東予、中予、南予と長い愛媛県、いつもは松山(中予)に集合しますが、
 ときには東予や南予に集合して、地域の会員と交流したり、建物や街並
 みの見学会などを開催しています。



担当者コメント：
 地方の古建築から先人の知恵と技を学び、現代に生かしていく事が出来ればと企画しました。

愛媛県建築士会 女性委員会

会員数133名 1986年設立

4つの継続的な勉強会等を中心に委員会活動を展開しています。

①スキルアップセミナー

専門知識の向上目的に

2018

表題
地震に負けない家造り

講師
株式会社
M'S構造設計主宰
佐藤美

木造住宅は二極化して行く！

■精度の高い地震調査と判定
 ■構造計算書
 ■長期優良住宅関係書類
 成果物を見せることができる安心感

■地震調査は安い方がお得！定
 ■構造計算は不要
 ■長期優良住宅は無駄
 ごまかすような住宅づくりはやめましょ

2020

表題
茶室を学ぶ

講師
花岡直樹建築事務所
花岡 直樹



②県内見学会

まだまだ知らない県内を探索

2018

南予地方散策



2019

東予地方散策



③異業種勉強会

建築士以外のプロに学ぶ機会を

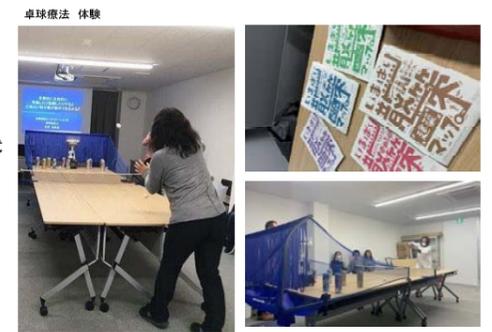
2018

表題
福祉セミナー
視覚障害



2020

表題
福祉セミナー
理学療法士 吉武



④暮らし+勉強会

何気ない暮らしの中に潤いを

2018

カルトナージュ
体験講座



2020

モザイクタイル
コースター作り



高知県建築士会 女性部会（委員会）

会員数 92名 1991年設立

…いたわり相談 PR ハガキ…

高知県ライオンズクラブが主催する桜基金に応募し、いただいた基金でPRハガキを作成し、県内の医療機関や福祉施設に配布しています。



1995年度に社会貢献活動を目的として、女性部会内に誕生。以来、ハンディーキャップのある方のための住宅についての勉強会、見学会、講習会などを開催。「高知県ひとにやさしいまちづくり条例」づくりにも協力。

…出張相談…

お祭りやイベントにあわせ、いたわり住宅研究会のPRや出張相談をしています。カルチャー教室で建築の基礎知識・耐震・リフォームの講習会をしています。



…相談窓口…

(木と人出会い館)

2003年度より、毎月第4土曜日に中心市街地の会場を借りて高齢者や障害者の住宅相談を行っています。



事例1（新築）

地方都市のNPO法人より相談を受け、小規模多機能福祉施設を設計しました。



事例3（改修）

昭和30年代に建築された診療所併用住宅。思い出の多い診療所を介護中心の生活しやすい住空間に改修しました。



事例2（用途変更）

築35年の増改築を繰り返した住宅に耐震補強を施し、デイサービス施設にしました。



その他の活動

…定例会…

青年部会と女性部会が合同で行っている月に1度の定例勉強会で、年に2回女性部会が担当するときは、普段見ることのできない建物等の見学会や、いたわり住宅研究会の活動の発表等を企画しています。



…新春会…

毎年、会員の親睦と異業種交流、会員増強を目的に女性のみ新春会を開催しています。30名程度の参加があり、講演会なども行い楽しい時間をすごしています。



高知県建築士会 女性委員会

会員数110名 1991年設立

とさつ子タウン10年の取り組み

とさつ子タウンとは…

ドイツ・ミュンヘン発祥の「こどものまち」を元にした、夏の2日間だけ高知に現れる架空のまちです。2009年から毎年開催をし、昨年で11年目を迎えました。就労体験や遊び、学びを通して社会を知るイベントで、小学4年から中学3年までを対象に約400人が参加します。運営事務局はNPO高知市民会議が担い、実行委員会は、学生（高校・大学生）と社会人で構成しています。「高知ならではの仕事・文化の体験」「異年齢間コミュニケーション」「社会の仕組みを知る」という目的を掲げています。



まちでできること

こども達はこのまちでまず仕事を選びます。そして働いて、給料をもらいます。給料の使い道は自由で、買い物をして楽しんだり、銀行に預けることもあって、貯金したお金で自分の店を開いたり、もちろん税金も納めます。ここではこのまちについて話し合う「議会」も開かれます。とさつ子市民は議員や市長を選ぶことで「選挙」という仕組みにもふれ、協力しながら自分たちのまちをつくらせていくことができます。



建築士会の関わり

我々は、参加するすべての人に「建築」の楽しさや意義を伝えることを目的に、第2回より連続10年専門家として関わってきました。こどもたちは、ハローワークで50種類ほどの仕事の中から、消防署員や警察官お医者さんなどさまざまな仕事に就きます。建築士会では、「建築デザイナー」という仕事を担当し、毎年異なるテーマで、こどもたちに、デザイン・模型作成を通して、建築士の仕事を体験してもらう取り組みをしています。コンクールを通してとさつ子市民が審査し、優秀賞、最優秀賞を選びます。最優秀作品は実際に翌年のまちに建設されます！

紙芝居



現地調査



模型作成



①紙芝居で建築士とはどのような仕事か学びます。②新しく建てる建物や工作物の現地調査、聞き取りをし、調査結果をもとに、デザインを行います。③約90分で模型まで作成します。

完成！



コンクール



最優秀賞決定！



翌年のまちに建設



④模型完成！テーマが同じでも、ひとりひとり違う、個性的な作品ができあがります。⑤コンクール開催！こども達が投票します。2016年のテーマ「フードコート」空間デザイン。⑥最優秀作品は、実際に翌年のまちに建設されます！

10年の取り組みの成果

元々、単調な段ボールのまちからスタートした「とさつ子タウン」は、デザインコンクールで選ばれた作品が毎年建設されて、彩りが加えられることによって、年を追うごとに豊かなまちに変わってきました。この10年で、市民だった少年は、建築に興味を持ち、市民を卒業した今は学生スタッフとして手伝いに来てくれています。他にも建築を志し大学に進学した学生スタッフもあらわれました。「とさつ子タウン」において、建築を通じた「まちづくり」「ひとづくり」の目的も実りを結んできました。これからも、建築の楽しさや意義を伝えていきます。



その他の活動

【いたわり住宅研究会】



1995年より活動を開始し、ハンディーキャップのある方のための住宅についての勉強会、見学会などを開催しています。現在は、毎月第4土曜日に、高知市中心商店街にて相談窓口を設けています。

【地域での防災活動】



地域の住民と防災活動を行っています。
・避難訓練
・逃げ地図
・DIG(災害上上演習)
・HUG(避難所運営ゲーム)などを地域に出て実践しています。

【新春会】



毎年、会員の親睦と異業種交流、会員の増強を目的に女性のみ新春会を開催しています。30名程度の参加があり、講演や会食で楽しい時間を過ごします。

福岡県建築士会 女性部会（委員会）
 会員数 58 名 1992 年設立

◆花は咲かせ隊（福岡支部女性委員会・青年委員会・まちづくり委員会）◆



1994年に「花は咲かせ隊」立ち上げ、市民グループや各団体と協力して花と緑のまちづくりを支援しています。1998年99年には海の中道海浜公園に、直径70mのひまわり花壇やゲートを作成し話題を呼びました。2004年からは釜山-福岡「花・緑・水交流」を重ねています。委員会・青年委員・災害対策委員会の協力で、他諸団体とのネットワークがうまくいっています。行政と市民のかけはし、大学とのかけ橋ができるようになりました。



(写真1・2)

継続は力なり

◆北九州市市民のための女性大学（北九州支部）◆

平成14年からプロデュース。毎年、受講者の皆様には大好評です。そして「女性のための市民建築大学」の活動を通し建築士の役割を認識していただき、また、委員会としては連絡網の充実を得ることができ、若いスタッフの活躍の場を提供することにより、設計士としての質を向上させるに至りました。



◆猿喰（さるはみ）新田塩抜き穴清掃活動（北九州支部）◆



「汚抜き穴」は潮の満ち引きを利用して土壌の汚を抜き新しい田を作るための土木遺構で歴史学習などに使えるよう、平成12年より毎年、地域の人々や保存会のメンバー・小・中・高校生と草刈りや清掃活動を行っています。小学生の描いた絵で案内の看板を作成しました。また、クイズ形式でため池を回るスタンプラリーで小学生や参加したボランティアの方々と楽しみながら歴史を学びました。



<エコ・アジア・五感に産>

そして世界へ

台湾台北市「台北国際花の博覧会」出展
 2010年11月6日～2011年4月25日

FUKUOKA
 福岡建築女子

学



観る



聴く



繋げる



感じる



2010年	台湾台北国際花の博覧会出展 建築士の集い・福岡大会 見学会
2011年	防災カフェ 緑・水国際フォーラムin台北 グリップキャンペーン 見学会
2012年	一般社団法人から公益社団法人へ 建築士の集い鹿児島大会地域実践活動で1位 防災カフェ グリップキャンペーン コレクティブハウス研究会
2013年	釜山市民公園に日本庭園参加 防災カフェ グリップキャンペーン
2014年	「雨の家」第6回サステナブル住宅賞受賞 防災カフェ グリップキャンペーン コレクティブハウス研究会
2015年	第18回「日・韓・中建築士協議会」in福岡 防災どんたく グリップキャンペーン ARCHKJNDY
2016年	防災どんたく グリップキャンペーン スキルアップセミナー
2017年	建築士の集い・福岡大会 防災どんたく グリップキャンペーン 法令勉強会 スキルアップセミナー(ビジネスマナー・お茶席から学ぶ) 見学会(ツリーハウス)
2018年	防災どんたく グリップキャンペーン スキルアップセミナー(マナーアップセミナー) ペーパークラフトワークショップ
2019年	防災どんたく グリップキャンペーン スキルアップセミナー (スピーチセミナー・インスベクションセミナー) 見学会 (三直様・油屋・旧伊藤伝右衛門邸・博多まち歩き他) 富田玲子氏講演会
2020年	オンラインセミナー 水害被災地支援活動 …… FOR THE FUTURE

長崎県建築士会 女性委員会

会員数6名 平成2年設立

長崎歴史文化博物館（会場）



●九州パッシンながさき
（九州8県より参加の大会）
大会運営実行協力及び
分科会を企画運営担当

見学会マップ作成



九州ブロック協議会

●年2回研修大会参加



県との連携

●住宅フェア（県内3市）
●建築無料相談 など

長崎県
女性委員会

広報活動



県士会発行冊子に女性委員会「べっぴんしゃん」紙面にて定期的に活動報告・予定などを掲載

市民とのふれあい

▽セミナー



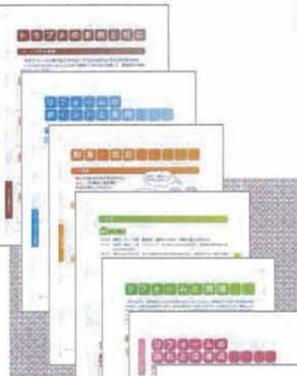
△講座（4会場）

建築士会活動

●県内研修大会参加
●青年部との連携 など

セミナー・講座・住宅無料相談会

市民や大学建築学科の学生などを対象とした講演会、専門家向け・消費者向けセミナー（2回）を開催。リフォームに関する冊子を編集発行し、市民対象に市内4ヶ所の公民館でリフォーム講座を開催。また、毎月1回の住宅無料相談会を継続して実施。



冊子編集発行
リフォーム講座や
建築無料相談会に
て活用



▽講演会



長崎県建築士会 女性委員会

会員数75名 1990年設立



長崎県主催の住宅フェアでは消費者向けに毎年住宅相談コーナーや大人気のデコパージュ体験を開催しています。市民説明会「住まいと健康セミナー」を大村市で開催。女性委員長が講師を務め100名を超える参加者を前に室温18度以下の危険性を説明しました。



長崎県住宅リフォーム推進協議会より委託を受け月1回の消費者向け無料住宅相談会やリフォームセミナーを開催しています。リフォームガイドブックやパンフレットを作成して配布も行なっています。女性を対象としたカラーセミナーを企画して建築とカラーに関する勉強も行いました。



県との連携

セミナー・講座

建築士の集い

NAGASAKI

建築士会活動

「建築士の集い」では県内大会から九州ブロック、全国大会まで長崎県青年委員会と一丸となって取り組んでいます。

総会や長崎支部女性部会の活動へ参加しています。年3回発行の長崎県建築士会会報には女性委員会の活動状況を掲載しております。



熊本県建築士会 女性部会 会員数110名 1991年設立

女性部会総会風景



毎年5月に開催される総会には、女性会員数110名の中20名前後の女性会員の参加がある。モットーは、いつでも、だれでも、気軽に参加できる建築士会女性部会です。

今年の総会は、ヘルパーさん不要との連絡があり、その言葉を受けて準備してなかった。結果、群れる子どもたちは、相乗効果もたらした。走る、声を出す、大騒ぎだった。

こんなところに子どもを連れてくるなんて、・・・とは言えずやけり準備しなかった執行部が悪いのです。

子育て中の建築士支援隊 建築士会女性部会でした



総会に合わせた講演会も開催します。せっかく一緒に集まる機会を、研修の場という事で、多方面の方にお話しをいただき、お話をさせていただきます。



今年総会に出席した子どもたち



前部長



いごき農家の岡さん



研究発表してくれた持田会員

住まいづくり相談会風景



相談会開催の一環の収穫は、熊本市の保健所とのコラボで、シックハウスの勉強会を立ち上げたことです。保健士、建築士のそれぞれの立場で意見を出し合い、当時社会問題となっていたシックハウス問題に取り組みました。お互いとも勉強になりました。「家づくりとシックハウス症候群」をテーマに保健士、建築士からのアドバイスを21のリーフレットにまとめ作成し、共同で相談会も開催しました。

世紀家の賑わい1999年6月24日 第4土曜日の午後梅雨の大雨の中スタート

毎月1回の定例の相談会として第4土曜日の午後3時から4時までの3時間だけの無料相談会です。場所が一般の相談者が足を運びやすいのでは、ということでも熊本県建築士会と協賛百貨店で立ちとしたスペースを借り、開催しています。



いつでも、だれでも、気軽に・・・時には住宅展示場やイベント会場での開催 建築士の日記念事業の一環として いつもの相談会を拡大し 青年部会と共に無料相談会を開催しました。

住まいづくり相談会によせて

最初の頃は、新築やリフォームに関する漠然とした相談が多かったように思います。ところが最近では、新築・リフォームの計画があり、図面も出来上がり、それでも不安を感じて図面持参でご相談にいらっしゃる方が多くなりました。

情報があふれ、断片的な知識と理想の家づくりといろいろな制約とで、混乱してしまい、先に進めないという状況です。その始新築時やマンションの購入後のクレームに関することも多くなってきています。

県建築士会女性部会員の協力で10年以上続いていることができました。長年住まいづくり相談会を開催して感じたことは、地域の建築士と市民（クライアント）との交流の場を設け、お互いに家づくりについて、考え勉強していく必要があるのではないかということです。今後、この相談会が、そのような場になることを期待して、継続は力なりとがんばっていきます。



私の建築スタイル



子供をおんぶして歩く姿、それがここの私のスタイルです。建築士になって、10年余りですが、結婚してからあという間に3人の母になりました。自営業なので出来たこととして、産休「復帰」を繰り返して、その間に建築基準法はめぐるしく変わりました・・・何とか周囲の協力もあり、講習会だけは参加して今にいたります。1人目の時から「復帰」すると、ありがたいことに仕事の依頼があり、富におんぶで打合せや現場に行っています。(もちろん、危険作業の時は行きませんよ) 職人さんが、抱っこしてくれている間に足場に登ったり、地主が抱っこしてくれたり、おかげで、すっかり長男次男は現場好き、直視を見て「かっこいい〜」材料の砂山で遊びをしています。現場の方々には、「なんね〜」とかが言われたり、私の周りのプチ子育て支援に感謝です。2年前から、事務所のスペースを利用して「親子サロン」なるものを始めました。子育てサークルとは違い、保護者が子連れで自由に遊ぶ場なので、私のママ友・親子サークルのチラシを見た人が主に来て下さいますが、阿蘇という土地情からと寄って来たという観光客の御一家もたまに来て下さいます。「子供が長距離移動で飽きてしまつて、こういうところがあると助かります」と言われると、阿蘇のイメージアップにも役立っているかなり昨年12月に県の助成を受けて『親子のHAPPYDAY』と銘打って、子育てサークル学習会を開催しました。天候にも恵まれ200人余りの来場者がありました。スタッフになってくれたママ友13名の協力に本当に感謝しました。ところが、そのママ友から「自分もこんなことができるんだと目標になった」「変化のない生活に変わって、楽しかった」とお礼に感謝されてしまいました。少しのぼせて、また別のイベントができたらいいな・・・なんて思っています。話は建築からそれてしまいましたが、子供が生まれて気づくことが多くあります。段差のこと・トイレのこと・コンセントのこと。なんとなく設計していたと言えれば語弊がありますが、今の日常は不便がいっぱい。その体験をこれからの設計に生かしたいと思います。最後に、3人目の子供はなんと女の子。今までは男の子だったから「現場」でも頑張るのですが、いさかか楽観してるとか・・・ 熊本県建築士会女性部会のモットー「いつでも、だれでも、気軽に」を実践しているような私の建築スタイルです。 熊本県建築士会 光原

Grid of 48 small panels, each containing a photo and text snippet from various events and activities, such as '住まいづくり相談会', 'シックハウス勉強会', and '防災支援活動'.

女性限定の建築見学会

女性会員の活動参加と会員増強を目的とした建築見学ツアーを開催

2018年度

大分の女性建築士限定！湯布院建築見学ツアー



会員設計の旅館新築工事現場を見学（由布院ZEN）



湯布院御三家の一つ「山荘無量塔（むらた）」見学



会員設計の店舗兼飲食店新築工事現場を見学（もくあみの杜）



隈研吾氏設計「コムマミュージアム」外観見学



会員設計の旅館新築工事現場を見学（由布院つるのゆ）



坂茂氏設計の「由布市ツーリストインフォメーションセンター」を見学

2019年度

大分県建築女子会 in 竹田（宮崎・鹿児島県女性建築士参加）



竹田市の城下町や歴史についてレクチャー



竹田市立図書館（設計者塩塚隆生氏による解説トーク）



隈研吾氏設計「竹田市歴史文化交流センター」工事現場見学



隈研吾氏設計「竹田市城下町交流プラザ」工事現場見学



400年の歴史がある旧岡藩迎賓館「御客屋 月鐘楼」を見学



古民家をリノベーションした宿泊施設「ホステルcue」を見学

大分県建築士会 女性部会
会員数70名 1997年設立

大分県のスギの生産量は全国第2位で、この豊富な資源をもとに、県内でスギが生産されています。県産材の需要拡大のために生まれたのが大分方式乾燥材

大分方式乾燥材の特徴

- ① 表面割れが少ない（2mm以下）
- ② 内部割れがほとんどない
- ③ 含水率が20%以下
（マイクロ波含水率計により、全製品を内部まで計測）
- ④ 木材が本来持っている色・つやが残っている
- ⑤ 木材が本来持っている香りが残っている
- ⑥ 通常の人工乾燥材にくらぶ、石油の消費量が少ないので環境に優しい

大分方式乾燥材の生産工程

- ① 人工乾燥機に通荷で1週間程度入れると、3日以下で出します。このため木が本来持つ色や香などが比較に残ります。
- ② 3~6ヶ月間、天然乾燥します。太陽の熱と風で、ゆっくりと含水率を下げます。
- ③ 内部割れがほとんどなく、表面割れが少ない。高品質な乾燥材「大分方式乾燥材」ができます

この大分方式乾燥材をもっと知ってもらおうと、大分県建築士会女性部会では県産材木造住宅建設支援事業として平成18年より【県産材を使って木の家づくり】をテーマに女性建築士による住宅セミナーを行ってきました。

<p>①見学会（18/11/11）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 製材所見学（大分方式乾燥材の生産工程） - 木造住宅施工現場見学 	<p>②木造住宅講演会（19/1/11）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「木の住まいの育て方、付き合い方」 	<p>③木造住宅講演会（19/3/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「健康で長生き出来る木造住宅」
<p>①見学会（18/11/11）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 製材所見学 - 木造住宅施工現場見学 	<p>②木造住宅講演会（19/1/11）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「木の住まいの育て方、付き合い方」 	<p>③木造住宅講演会（19/3/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「健康で長生き出来る木造住宅」
<p>①見学会（19/6/0）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 製材所見学 - 県産材材補助金制度を利用した物件木造住宅施工現場見学 	<p>②木造住宅講演会（19/2/25）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「自然住宅、健康住宅」 	<p>③見学会（19/11/10）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 女性建築士による設計物件 - 上棟式を終えたばかりの現場見学 - 女性棟梁の話を聞きながら見学
<p>①見学会（19/6/0）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 製材所見学 - 県産材材補助金制度を利用した物件木造住宅施工現場見学 	<p>②木造住宅講演会（19/2/25）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「自然住宅、健康住宅」 	<p>③見学会（19/11/10）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 女性建築士による設計物件 - 上棟式を終えたばかりの現場見学 - 女性棟梁の話を聞きながら見学
<p>①木造住宅講演会（20/9/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「木の家づくりと子育て」 - ワークショップ 	<p>②見学会（20/12/13）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 県産材を使った在来木造住宅の完成内覧会 - 構造見学会 	<p>③木造住宅講演会（21/2/28）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「木の家づくりと子育て」 - ワークショップ
<p>①木造住宅講演会（20/9/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「木の家づくりと子育て」 - ワークショップ 	<p>②見学会（20/12/13）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 県産材を使った在来木造住宅の完成内覧会 - 構造見学会 	<p>③木造住宅講演会（21/2/28）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「木の家づくりと子育て」 - ワークショップ
<p>①見学会（21/9/26）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 大分方式乾燥材の製材所見学（佐伯広域森林組合） - 木造住宅施工現場見学 	<p>②木造住宅講演会（22/3/4）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 伝統工法を手掛ける大工棟梁による講演会 	
<p>①見学会（21/9/26）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 大分方式乾燥材の製材所見学（佐伯広域森林組合） - 木造住宅施工現場見学 	<p>②木造住宅講演会（22/3/4）</p> <ul style="list-style-type: none"> - 伝統工法を手掛ける大工棟梁による講演会 	

宮崎県建築士会 女性委員会
会員数72名 1990年設立

過去2年間の活動報告

■ きらら研修会

2008年12月12日

平和台公園と下北方の路地を行く

平和台公園は宮崎市の北西部、標高60mの古墳台地に広がる県立公園です。その中に平和のシンボルとしてそびえ立っている「平和の塔」は、皇紀2600年を記念して昭和15年に建立されたものです。「平和の塔」の背景にあった史実を聞きながらそこには古事記発祥の地と伝えられているものも存在していました。それらを知り得た上で見慣れた「平和の塔」を改めて建築士の視点から見直したときどのように感じたのでしょうか。参加者にアンケートも実施してみました。ご興味のある方はどうぞブログへ。

平和台公園を囲む下北方にも伝説のひとつは散在しています。懐かしい路地の横には宮崎県近代和風建築冊子にも紹介されている谷口邸を始め、神武天皇が東征するまでの「宮」の跡地とされていた皇宮神社とすぐそばの「皇軍発祥の地」の塔、皇宮屋の北方向に景清(源平合戦で負けた平家の景清が仏門に帰依していたと伝えられる草庵)もありますので散策しました。最後は今散策した地盤をも知っておきましょうということで士会メンバーによる地盤の講習会を行いました。



古事記の一部が表現された石青レリーフ



彫刻家 日名子実三氏デザインの青銅ドア (ひなごじつぞう)



平和台公園近辺の公民館で地盤の講習会

2009年12月12日

都城島津邸の歴史と都城地域の地層の話

都城島津邸の既存修復と歴史資料館が完成間近でしたのでこの機会にと現場見学会を行いました。その後、地層の講習会を行いました。



左図の ⑤ 本宅(約180坪)は、昭和10年11月の陸軍大演習のため邸宅の改装を計画し施工されました。大演習のとき、閑院宮(江戸時代中期に創立された宮家)が宿泊されました。昭和28~29年に2階部分を増築。

昭和47年に昭和天皇御宿泊のため大改装を行っています。窓に鉄格子、万一の場合に備えて北出口として螺旋階段を設置しました。

私達が見学した時は、2階への階段が取り外されていたので、昭和天皇が宿泊された部屋は、見ることが出来ませんでした。

■ 九州ブロック大会

2010年1月30日

平成21年度九州ブロック大会～パッションイン宮崎

九州では8県持ち回りで年に2回九州大会があり、今年は宮崎県日南市にて開催されました。テーマは～ものづくりを通してのコミュニケーション～第3分科会を担当した女性委員会ではたまには女性らしく懐かしくということで調理実習を提案。そのタイトルはくっちみろかい。郷土料理の魚うどんとおどろ天を7班(総勢38名)で作成し参加者全員に振舞われました。



地元の漁連婦人部の方が講師です



パッションはお祭りですから



またやってみようと思っただけが目標です

宮崎県建築士会 女性委員会

会員数72名 1990年設立



2015 きらら研修会 in 都城



2016 きらら研修会 in 高鍋



2017 きらら研修会 in 日向



2018 きらら研修会 in 日南



2019 きらら研修会 in 宮崎

(社)鹿児島県建築士会女性部会

薩摩おごじょの活躍をみったもんせ

あゆみ

平成元年より活動を始め、平成6年6月に女性部会として設立しました。

H4. 視察訪
「よきおごじょ」発刊



H6. 「高齢化社会をみつめて」の学習を始める。各地で「Jアフォー」フォーム講習会を開催

H8. 県委託による「すこやか住宅リフォーム」の構築に携わり、これをテキストとした技術講習会に講師として派遣された。



H9. より市民キャリアーほか各地にてパネル展示を始める



H17. 「薩摩街道めぐり隊」発足。埋もれた街道を歩き、一般市民とともに旧街道をめぐる。



上記の活動は全て現在も継続し、次の世代に引きつがれています。



雄大な桜島に恵まれた鹿児島の地より、まちづくり・住まいの相談・地域貢献活動と、元気な声を発信し続けています。



勉強会
建物見学

住宅相談
窓口開設

会員の交流
研修

街道班事業
(薩摩街道めぐり隊)

建築の世界で働く女性のための研修会 「けんちくおごじょ大集合！」

2016 start

2016
女性建築士が考えるこれからの暮らし

2017
色彩から考える豊かな住まいづくり
豊かさを演出する街づくり

2018
豊かな暮らしを実現する整理収納術

2019
癒しのあかりを探して



テーマ「歩」「色」「街」「知」「技」 「おごじょミニセミナー」

2017 start

セミナー「歩」
地域と歩んだ伊勢神社再建プロジェクト
海を望む家完成現場見学会
茶室を学び体感する

セミナー「色」
色が変われば 仕事が変わる！ⅠⅡ
街が色づく！リノベーション講座

セミナー「街」
コンセプトをつらぬく
街へとびだせ！デザイン講座

セミナー「知」
女性目線から見る防災照明
けんちくおごじょとまちあるきin名山堀
大分竹田の建築と街並みの魅力を再発見

セミナー「技」
プロカメラマンに学ぶ写真技術
輸入壁紙を貼ってみよう！
働き方改革！健やかな体について考える



「建物見学会」 「建築出前授業」 「ふれあい授業」



建築士としてのスキルアップ

けんちくおごじょ大集合！

女性建築士の存在発信

女性のネットワークの構築

～豊かな暮らしの実現に向けて～

次世代への継承

世代を超えた交流

沖縄建築士会 女性委員会

1993年設立
 会員数 57名
 (2010年7月)



平成21年8月
第9回建築セミナー

沖縄県は離島県ということもあり、建築家の講演に参加する機会が少ないのが現状です。地域の活力となる次世代の人材育成の一環として有名建築家に講演して頂くことで、若手建築士の育成、沖縄県の技術躍進へと繋げていくことを目的とする。



平成22年4月
tatamiセミナー

建築物を映えさせる障子など、近年では新築時に造園まで依頼される事も多く建築士として『障子』について見識を深めるべく、(社)沖縄県造園建築家協会・久田氏に講演して頂き、会員限定の無料セミナーを開催する。



平成21年12月
あかりセミナー
 「これからのあかり」

あかりには、人の気持ちを豊かに変化させる力があります。ただ明るさだけでなく、心から安らげるあかり。家族、友人といる時間をもっと楽しむあかり、心地よい眠りに誘ってくれるあかり、あかりの魅力、あかりの力をプロから学ぶと同時に、ランプ作りを通して、インテリアコーディネートするのと同じようにあかりの演出を学ぶことを目的とする。



平成21年7月
親睦バドミントン大会

業務の忙しきや生活が便利になることにより、体を動かす機会の減少へと結びついている現代において、健康の保持増進や体力の向上のみならず、スポーツを通して体を動かすという人間の本能的な欲求に答えるとともに、爽快感、達成感、相互の連帯感等精神的充実や楽しさ、喜びをもたらしながら交流を図る機会を得られる。



平成22年2月
史跡巡り in 読谷村

本物の歴史・文化財に触れる機会を提供するとともに、これらの取り組みを通じて、地域の文化資源を活かした魅力ある街づくりを体験して頂くとともに、ボランティア以外の事業として、『楽しい、また士会へ参加したい』と思わせるような機会を提供することを目的とする。



平成21年9月
みんなでクッキング in クリナップ沖縄ショールーム

勉強会・ボランティア以外の事業として、『楽しい、また士会へ参加したい』と思わせるような機会を提供すると共に、建築に関連する調理器具の体験をして頂くことを目的とする。非会員や、会員の家族の参加を呼びかけ、会員はもとより家族同士の交流と士会活動のPRにも繋がり家族の方にも士会活動を理解して頂く機会が得られる。



平成22年3月
進路講話

どの業界も若手不足と言われる中、建築業界の底辺拡大と20年後の未来を切り開くにも、この投資は大切だと考えます。青年・女性委員会に限らず多くの建築士に語ってもらい、建築士会のPRを兼ね学生達へ建築に対する強い意識付けを行っていく事を目的とします。



平成21年6月
折り紙建築教室

建築士との交流を深め、未来を担う子供達の健全育成を図る為、『折り紙建築』教室を行う。この体験を通じて、子供達が建築に対して少しでも関心・興味を持ってもらい、建築士という職業を知るきっかけにする。

沖縄県建築士会 女性委員会

会員数16名 1993年設立



令和元年「集い」石垣大会



令和元年の九州ブロック研究集会 建築士の集いが沖縄県石垣島で開催しました。離島という事もあり、準備では青年女性委員会が一致団結になりました。九州ブロックから集まって頂いた皆さまとも楽しく学び、達成感や成長を感じた大きなイベントでした。

令和元年9月 構造クラフト教室



令和2年1月 おうちぼっくす



建築士との交流を深め、未来を担う子供たちの健全育成を図るため、地域の小中学校にて「構造クラフト」や「おうちぼっくす」を行っている。この体験を通して、子供達が建築に対して関心・興味を持ってもらい、建築士という職業を知るきっかけづくりとなっている。

令和元年8月 構造クラフト教室 in こどもの国

小中学校だけではなく、地域イベントなどにも積極的に参加しており幅広く建築士という職業アピールと共に、子供達との関りに力を入れている。

